

**高知県嶺北地域における訪日外国人旅行者
に対する観光資源等調査事業**

業務報告書

**国土交通省四国運輸局
令和3年12月**

1. 事業の目的

事業の目的

四国中央部に位置する高知県嶺北地域は、1995年から20年で人口が30%以上減少し、2015年の高齢化率は47.9%、また訪日外国人旅行者も非常に少ない地域ではあるが、四国内の各地域への交通便利が良く、豊富な自然資源と伝統的文化も有しており、戦略的な取組を実施することで訪日外国人旅行者を誘客することができるポテンシャルをもつ地域である。

2010年の嶺北地域観光・交流推進協議会の設立以降、旅行商品の造成、PRパンフレットの作成や地域振興イベントの開催など、観光振興に取り組んできた。2019年3月には、土佐れいほく博推進協議会が設立され、嶺北地域を舞台に「アウトドア」、「生活文化」、「食」をテーマとした嶺北地域観光キャンペーン「土佐れいほく博」が開催され、約20万人を集客した。その後も引き続き、自然体験型誘客体制を整え、交流人口の拡大や地域の活性化に取り組むため、「一般社団法人土佐れいほく観光協議会」が2020年12月1日に設立されるなど、訪日外国人旅行者に対応した観光資源の磨き上げや、持続的に観光産業を促進するための体制構築を目指す取り組みを継続している。

本事業は、将来的に地域の価値を高め、訪日外国人旅行者の周遊を促し、同地域での消費拡大を図ることを目指すとともに、同地域の観光地域づくり法人（DMO）としての登録を検討している上記協議会を支援する一環として、同地域にある観光資源の調査、訪日外国人旅行者の趣向に合うような磨き上げにかかる検討及び観光地域づくりをしていくうえで必要な実施体制等の構築のための調査を通じて、隣接各地域への周遊につながるポイントや同地域及び隣接地域の消費機会拡大にかかるポイントを取りまとめ、提言としてまとめる事業である。

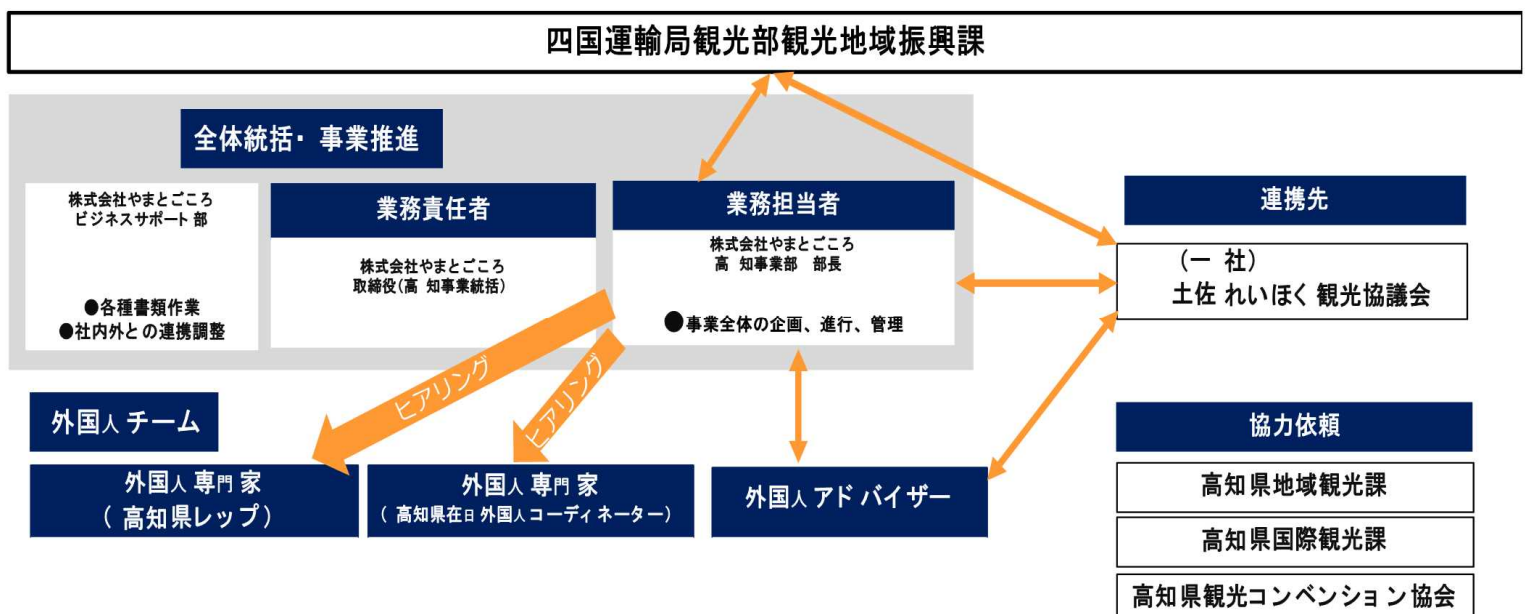
2. 実施体制

実施体制

実施主体： 四国運輸局

受託者： 株式会社やまどころ

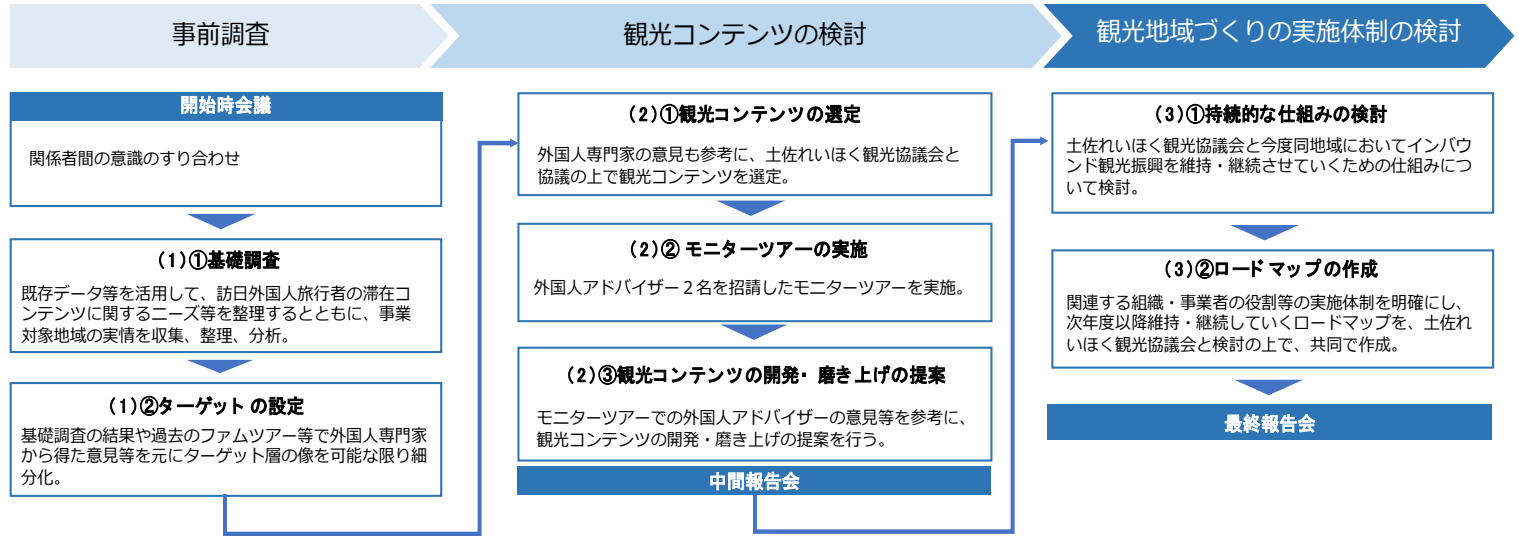
事業対象地域： 高知県嶺北地域（本山町、大豊町、土佐町、大川村）



3. 事業のスケジュール

	6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月		
全体統括	詳細計画書提出	開始時会議							中間報告書（案）作成		中間報告会					最終報告書（案）作成		最終報告会	最終報告書提出		
事前調査			基礎調査																		
観光コンテンツの検討						観光コンテンツの選定		モニターツアー	観光コンテンツの開発・磨き上げの提案												
観光地域づくりの実施体制の検討													持続的な仕組みの検討								
													ロードマップの作成								

4. 取り組み内容



事業内容	取組のポイント	アウトプット（定量/定性含む）	
① 事前調査	●基礎調査を元に嶺北地域が保有する観光資源等を勘案し、同地域がインバウンド観光振興をしていくうえで、有効なターゲット設定をする。	■国籍・属性等を含めたターゲット像抽出	ターゲット像 5件程度
② 観光コンテンツの検討	●土佐れいほく観光協議会と選定方針、基準や方法等について検討・調整したうえで、専門家等の外国人目線の意見等を取り入れて観光コンテンツを選定 ●設定されたターゲットの観点から、観光コンテンツ等に助言ができる外国人専門家等を招聘するモニターツアーの実施	■モニターツアー参加者からの意見抽出	モニターツアー 1回、参加者2名
		■観光コンテンツの周遊に繋がる提言	20件以上
		■消費拡大につながる提言	10件以上
③ 観光地域づくりの実施体制の検討	●持続的な仕組みの検討 ●ロードマップの作成	■次年度以降のロードマップの作成	

1. 嶺北地域および周辺市町村における訪日外国人旅行者の滞在分析

1. 嶺北地域および周辺市町村における訪日外国人旅行者の滞在分析

経済産業省と内閣官房（まち・ひと・しごと創生本部事務局）が提供する地域経済分析システム（RESAS（リーサス））で公開されている「外国人滞在分析」を活用することで、嶺北地域および周辺市町村における訪日外国人旅行者の滞在状況を知ることができる。

当データは、株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計®」の協力により、指定した表示年・月・時間帯における訪日外国人旅行者数を地域毎に把握可能。対象地域に1時間いた訪日外国人旅行者を1人とカウントしている。データの収集については、携帯電話ネットワークの仕組みを利用しており、年間約750万人分(2017年)のデータを実際の入国データ（法務省の「出入国管理統計年報」）を基に拡大推計を行っている。

①2019年1月（冬季）

昼間（10～18時）



夜間（2～5時）



- ・ 昼間、夜間ともに嶺北地域への訪日外国人旅行者の滞在はほとんど見られない。
- ・ 隣接している市町村では、昼間は高知市、南国市、三好市に特に多くの訪日外国人旅行者が滞在している。夜間は高知市に特に多くの訪日外国人旅行者が滞在している。

②2019年4月（春季）

昼間（10～18時）



夜間（2～5時）



- ・ 嶺北地域において、昼間は大豊町に訪日外国人旅行者の滞在が見られるが、夜間は見られない。
- ・ 隣接している市町村では、昼間は高知市、南国市、三好市、新居浜市、四国中央市に特に多くの訪日外国人旅行者が滞在している。夜間も同五市に特に多くの訪日外国人旅行者が滞在している。

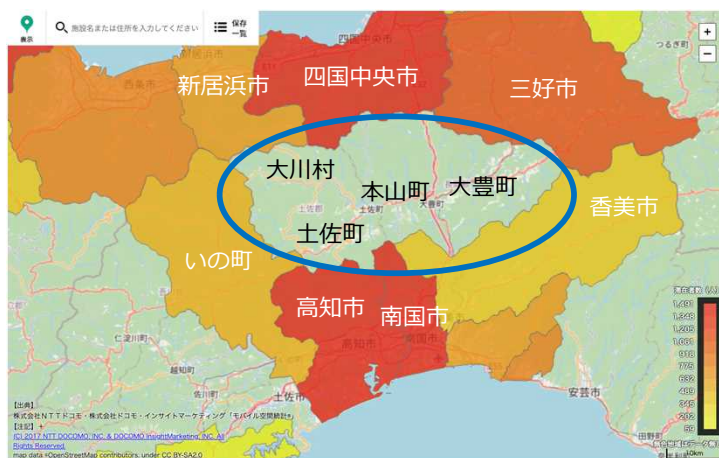
1. 嶺北地域および周辺市町村における訪日外国人旅行者の滞在分析

③2019年7月（夏季）

昼間（10～18時）



夜間（2～5時）



- ・ 嶺北地域において、昼間は大豊町に訪日外国人旅行者の滞在が見られるが、夜間は見られない。
- ・ 隣接している市町村では、昼間が高知市、南国市、三好市、四国中央市に特に多くの訪日外国人旅行者が滞在している。夜間も同四市に特に多くの訪日外国人旅行者が滞在している。

④2019年10月（秋季）

昼間（10～18時）



夜間（2～5時）



- ・ 嶺北地域において、昼間は大豊町に訪日外国人旅行者の滞在が見られるが、夜間は見られない。
- ・ 隣接している市町村では、昼間が高知市、南国市、三好市、新居浜市、四国中央市に特に多くの訪日外国人旅行者が滞在している。夜間が高知市、三好市、新居浜市に特に多くの訪日外国人旅行者が滞在している。

【まとめ】嶺北地域および周辺市町村における訪日外国人旅行者の滞在分析

- 嶺北地域において、春・夏・秋は大豊町に一定の訪日外国人旅行者が滞在している。但し、一定の滞在者数があるのは昼間のみとなっており、宿泊は他の市町村に滞在している可能性が高い。
→吉野川のラフティングを目的とした訪日外国人旅行者がシーズンである春・夏・秋に一定数大豊町を訪問しているが、宿泊先は高知市や三好市となっていることが考えられる。嶺北地域としては、残りの3町村にこの訪日外国人旅行者の訪問エリアを広げることや、域内に宿泊してもらうことが、今後の課題となる。
- 隣接市町村では、季節によって変動はあるものの、概ね高知市、南国市、三好市、新居浜市、四国中央市の五市に多くの訪日外国人旅行者が滞在している。
→高速道路やJRでのアクセスを考えると高知市、南国市、三好市に滞在する訪日外国人旅行者に嶺北地域まで足を伸ばしてもらうことが、優先的に考えるべき1つのポイントとなる。

3. 高知県を訪問する訪日外国人旅行者の概況

3. 高知県を訪問する訪日外国人旅行者の概況

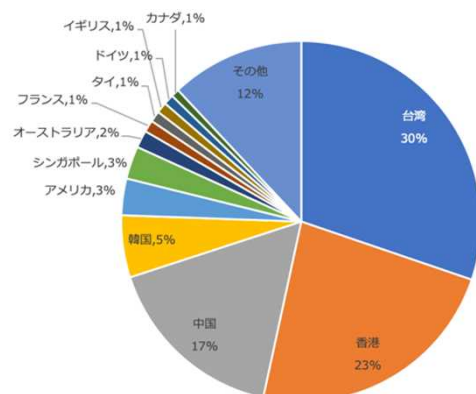
高知県の訪日外国人旅行者誘致における重点市場は、台湾、香港、中国、韓国、米、豪、シンガポール、タイの8市場。

中でも台湾及び香港からの来県者数が多く、宿泊統計では、この2地域で高知県を訪問する外国人のべ宿泊者数の50%超を占めている。

台湾市場については、高松空港・松山空港からの団体旅行による訪問が多く、高知県を訪問する訪日外国人旅行者の6～7割は団体旅行であると推計されている。日本全体では団体旅行で訪日する人の割合は25.4%(2019年観光庁訪日外国人消費動向調査)。高知県特有の団体旅行が多い状況への継続した対応と、伸びゆく個人旅行への対応が徐々に重要性を増している状況。

香港市場については、高知県を訪れる人の多くは、特定の旅行会社による高知市周辺のみを訪問する団体旅行者と、高松空港に就航している香港エクスプレスを利用した個人旅行者に大別される。団体旅行は約4割超を占めると推計されており、日本全体の10%(2019年観光庁訪日外国人消費動向調査)を大きく上回っている。一方、5割超を占める個人旅行では、訪日外国人旅行者の中ではレンタカーを利用した香港からの旅行者が最も多いという声が県内の比較的2次交通が不便な地域の事業者から頻繁にヒアリングで上がるなど、個人旅行慣れした香港の人には高知県の地方部でも可能性は十分にある。

高知県の外国人のべ宿泊者数（2019年）



1	台湾	24,580
2	香港	18,860
3	中国	13,500
4	韓国	4,520
5	アメリカ	2,670
6	シンガポール	2,390
7	オーストラリア	1,270
8	フランス	860
9	タイ	800
10	イギリス	790

【まとめ】高知県における訪日外国人旅行者誘致の概況

- 高知県の重点市場は、台湾、香港、中国、韓国、アメリカ、オーストラリア、シンガポール、タイの8市場。
- 高知県を訪問する訪日外国人旅行者で多いのは、台湾・香港。この2地域で半数を占める。台湾は団体旅行が6～7割程度。香港も約4割超が団体旅行と推計されている。台湾・香港ともに団体旅行の占める割合が全国平均よりもかなり高い。（2019年の訪日外国人消費動向調査）
- 個人旅行についても近年増え始めており、台湾は公共交通機関、香港はレンタカーを利用した個人旅行者が比較的多い傾向にある。
- 欧米豪諸国からはアメリカ、オーストラリアが多く、近年重点市場として誘客に取り組んでいる。

4. 過去のファムツアー等で外国人専門家等から出た意見

過去に高知県等が実施する招請事業等にて嶺北を訪問した外国人専門家から出た意見を以下に整理する。

- ・ 柚子は万人に魅力的なコンテンツである。味や香りはもちろんだが、美容や健康の観点からも欧米では注目されている。
- ・ 11月の収穫の時期であり、他地域では取材を断られたが、快く受け入れてくれ、忙しい時期に取材や柚子狩りを体験させてもらい、大豊町の農家さんの心意気を感じた。
- ・ 嶺北ならではの柚子商品はアメリカにも輸出されていて、親近感を感じた。
- ・ また、高知市から日帰りで行けるのもメリットのひとつ。
- ・ 土佐酒造にはカナダ人の蔵人がいて、英語でコミュニケーションを取ることができた。外国人旅行者にとっては、とても貴重な機会となる。
- ・ 土佐酒造を訪問した上で、酒米が育てられている棚田を実際に訪問できることはとても良い。
- ・ 土佐酒造以外にも、廃校になった学校を活用して泡盛を醸造している場所やワイナリーなどもあり、同じ地域で日本酒以外の酒文化に触れられることは興味深い。
- ・ 視察を受けて企画したKochi Sake Tourには、嶺北地域から、さめうら荘（宿泊）、土佐酒造、うどん処繁じ、土佐町の棚田（高須地区）、ばうむ合同会社（土佐泡盛REIHOKU）が行程に盛り込まれた。
- ・ のどかな雰囲気、都会から疲れてやって来る人にはリラックスできる場所。
- ・ モンベルアウトドアビレッジ本山は欧米豪の人が休暇で好むリラックスできるスタイルを提供している。ベジタリアン対応ができないのが残念。ただ、欧米豪が心地よいと感じられる空間だと思う。
- ・ 棚田は初めて見たが、素晴らしい。今回は冬の訪問だったが、季節ごとに風景が変わり、見ごたえがある。
- ・ この棚田で取れたお米を使った日本酒は最高だった。地産地消の考えはとても良い。
- ・ 土佐酒蔵のお酒はイギリスやカナダでも販売されていると聞き、嬉しかった。

5. ターゲットの設定

事前調査の結果から以下の5つを嶺北地域の訪日外国人誘客にあたってのターゲットとして提案する。

ターゲット ①	ターゲット	欧米豪からのアクティブ層
	概要	日本有数のラフティングスポットである吉野川でのラフティング体験を求めて訪問するアメリカ・オーストラリア等からのアクティブ層
	選定理由	- 吉野川はラフティングの世界大会が開催されるなど、日本屈指のロケーションである。 - 大豊町のラフティング事業者には、既に海外からの旅行者も一定数訪れている。
ターゲット ②	ターゲット	欧米豪からの個人旅行者
	概要	欧米豪市場の中でも旅の中に学びの要素を求める層。祖谷等、近隣の地域を訪問する外国人旅行者に一步足を伸ばしていただく。
	選定理由	- 土佐酒やその酒米を育てる棚田、柚子などを中心としたコンテンツが過去にこの地域を訪問した欧米豪からの外国人専門家からも評価が高い。 - 隣接する三好市の祖谷溪は、アメリカの主要旅行雑誌から The 50 Best Places to Travel in 2018に日本で唯一選出されるなど評価が高く、祖谷溪を訪問する旅行者に足を伸ばしてもらうことも考えられる。 - アメリカ、オーストラリアは高知県の重点市場でもあり、近年県も積極的なプロモーション活動を行っている。
ターゲット ③	ターゲット	台湾からの教育旅行
	概要	特に大豊町がこれまで力を入れてきた台湾からの教育旅行。今後は香港などアジアの他の国にも展開することを目指す可能性も。
	選定理由	- 大豊町が既に台湾からの教育旅行の受け入れ実績がある。 - 宿泊施設の不足を民泊を活用することでカバーすることができる。 - 嶺北の観光資源を活かした誘客と相性が良い。
ターゲット ④	ターゲット	台湾・香港からの個人旅行者
	概要	高知県を訪れる訪日外国人数のべ宿泊者数では約50%を占める台湾及び香港市場。その中でも、今後伸びる個人旅行者層。
	選定理由	- 台湾、香港は高知県を訪問する外国旅行者の上位2地域で、合わせて50%を超える市場。高知市からの誘客を考える際にはボリュームゾーンとなる。 - 徳島県の三好市には香港からの旅行者が多く、徳島側からの誘客を考える際にも狙えるターゲットとなる。 - 公共交通機関利用、レンタカー利用共に、嶺北地域の強みであるアクセスの良さを活かすことができる。
ターゲット ⑤	ターゲット	台湾・香港からの団体旅行者
	概要	高知県は団体旅行の比重が高く、台湾は6～7割、香港は5割が団体。嶺北は高知県へ来る際に必ず通る場所でありアクセスは良好。
	選定理由	- 台湾、香港は高知県を訪問する外国旅行者の上位2地域で、合わせて50%を超える市場。高知市からの誘客を考える際にはボリュームゾーンとなる。 - 徳島県の三好市には香港からの旅行者が多く、徳島側からの誘客を考える際にも狙えるターゲットとなる。 - 高知市を訪問する団体の場合、高知自動車道を通っているので、コンテンツさえあれば、大豊ICで一度降りて立ち寄ってもらえる可能性がある。

1. コンテンツ候補

No.	種別	コンテンツ名 (体験内容)	概要	町村
1	アクティビティ	吉野川ラフティング	四国三郎・吉野川は、急流地点も多く、ラフティングの世界大会も行われた日本屈指のクオリティを誇る川です。また激しいだけでなく、ダイナミックな渓谷の美しさにも心を癒されるでしょう。早明浦ダム直下のコースは、流れが穏やかなので愛犬やお子様と一緒に楽しめます。小学生から参加できるコースもあるので、予約時に年齢やレベルなどを相談してください。	大豊町
2	アクティビティ	カヌー・カヤック	日本最大級の激流地でもある吉野川は、泡立つ急流の中、迫りくる岩を避けながら漕ぎ下るスリル満点のカヤックコースから愛犬と楽しめる穏やかなコースなど多彩。ツアー会社やショップも多数あり、経験や予算によって選ぶことができます。	本山町等
3	アクティビティ	SUP	スタンドアップパドルボートは、人気急上昇のウォータースポーツ。ボードにたち、パドルを漕ぐだけなので運動が苦手な方や小さなお子様も十分楽しめます。景観美を楽しみながらゆったりと水上散歩をお楽しみください。	本山町等
4	アクティビティ	キャニオニング	渓谷を下っていくキャニオニングも、ワクワクする遊びの1つ。ウォータースライダーのように滑ったり泳いだり、岩の上からジャンプしたり、ガイドが案内する秘密の場所があったり、お楽しみも次々登場。	大豊町
5	アクティビティ	シャワークライミング	ゴツゴツする岩場をどんどん登っていくシャワークライミング。初めての方や親子でも無理なく楽しめるコースからスリルコースまで充実。ゴールの達成感はひとしおです。	本山町等
6	アクティビティ	さめうらカヌーテラス (カヌー・SUP)	さめうら湖を中心とした自然体験型観光の拠点「湖の駅」。レストランが併設されたホテル「さめうら荘レイクサイドホテル」と、湖面を中心としたアクティビティが楽しめる施設にカフェが併設された「さめうらカヌーテラス」もお楽しみください！	土佐町
7	トレッキング	梶ヶ森	標高1399.6m。登山コースには日本の滝百選・土佐の名水40選の「龍王の滝」、弘法大使ゆかりの「御影堂」、定福寺「奥の院」などみどころ満載。山荘梶ヶ森に泊まれば便利。	大豊町
8	トレッキング	井野川たてなが集落歩き	大川村の、標高差380mの縦に長い井野川集落を練り歩くハードなトレッキングコース！歩けば楽しい発見や色々な出会いも。参加者によって柔軟にコースを考えますので、ご安心ください。	大川村
9	トレッキング	霧石渓谷トレッキング	かつての生活道路が、トレッキングコースとして蘇ります。霧石渓谷や棚田などの名所はもちろん、コースから望む大豊町の絶景はまさに唯一無二です。	大豊町
10	宿泊施設	モンベルアウトドアヴィレッジ本山	モンベルプロデュース！宿泊コテージや温浴施設が整ったアウトドアの拠点。10室あるコテージの他、研修等にも便利な団体向け宿泊施設も完備。BBQやピザが楽しめるレストランやモンベルストアも併設。	本山町
11	宿泊施設	さめうら荘レイクサイドホテル	清潔でゆったりとした館内。レストランやお部屋から湖畔を眺めて過ごせます。おすすめは土佐あかうしのステーキやダムカレー。赤みの旨さをとことん感じられます。花見時は、レストランから望む桜が見事です。	土佐町
12	宿泊施設	山荘梶ヶ森	標高1400mの梶ヶ森は山頂まで車で登れる数少ない山。直径60cmの望遠鏡を収容した天文台では満天の星空をお楽しみいただけます。登山・ハイキング、キャンプ、雲海鑑賞など、四季折々の自然を大満喫！	大豊町
13	宿泊施設	ゆとりすとパークおおとよ	山頂に向かって、曲がり道を進み、巨大風車が迫ってくればよいよ。朝の雲海は絶景です。テントサイト、RVパーク、サニタリー設備など充実。花を愛で、遊具で遊びと、多彩に楽しめます。	大豊町
14	宿泊施設・田舎体験	自然王国 白滝の里	空気良し、気分よし。近くの川で遊んだり、植物採集や手作り体験をしたりと、大人も子供も自然を大満喫。ホールや会議室もあるので研修にも便利。キャンプ場もありテントなども貸し出し可能。	大川村
15	宿泊施設・田舎体験	汗見川ふれあいの郷清流館	旧小学校を宿泊施設に利用している清流汗見川の拠点。そば打ちの他、石窯ピザ体験、田植え、稲刈り、間伐などのさまざまな田舎仕事に挑戦できます。	本山町
16	宿泊施設	緑の時計台	元ラフティングガイドが運営する宿泊施設。廃校の小学校を、出来る限りそのままの状態に残しつつ、気軽に泊まれる素泊まりの宿で、ラフティングやBBQも楽しめます。	大豊町
17	観光資源	杉の大杉	二株の大杉が根元で合着しており夫婦杉とも呼ばれています。南の杉の周囲は約20m、高さ約60m（北は各16.5m、57m）。荘厳な雰囲気です1952年、国の特別天然記念物に指定されました。	大豊町
18	観光資源	本山町の棚田 (吉延・大石地区)	日本一に二度も輝いた特別栽培米「土佐天空の郷」発祥の地。展望台からは、弥生時代からほとんど変わらないという棚田のパノラマを見ることができます。	本山町
19	観光資源	大豊町の棚田 (怒田・八畝・穴内地区)	まるで空にばかりと浮かぶようにも見える美しい棚田群。怒田・八畝・穴内地区の棚田が有名で、のどかな日本の原風景を描いています。	大豊町
20	観光資源	土佐町の棚田 (高須地区)	吉野川の最上流にある標高350mの山間部に連なる棚田。見事に手入れをした美しい田で、どの農家もわが子のように丹精込めて米作りに励んでいます。とても近く感じる空や雲、周りの山々、アジサイやコスモスといった花の咲くあぜ道など、季節ごとに移り変わる棚田の風景を楽しむことができます。	土佐町

1. コンテンツ候補

No.	種別	コンテンツ名 (体験内容)	概要	町村
21	観光資源	早明浦ダム	多目的ダムとして西日本一の貯水量を誇り、吉野川水系における水資源開発の中核をなす「早明浦ダム」(1975年4月管理開始)。その間、洪水の調節、流水の正常な機能の維持、新規用水の供給を行うとともに発電を行い「四国の水がめ」として多くの人々の暮らしや産業を支えています。四季折々の美しさを映した湖では、バス釣りや水上スポーツ等も行われています。	土佐町
22	観光資源	アメガエリの滝	エメラルドグリーンに輝く滝つぼに流れ落ちる水しぶきと、苔むした岩が美しい滝。"アメゴが登りきれずに引き返す"滝ということで、この名前で呼ばれるようになったと言われています。	土佐町
23	観光資源	小金滝	山頂付近の険しい岸壁から流れ落ち、吉野川へと水を育む落差約100mを有する四国でも最大級の滝です。水量や四季に応じてその山紫水明なる美しさの見所を変えます。雨の多い梅雨の時は運が良ければ虹がかかり、秋は周辺を点描画のように美しく彩る紅葉の中で優美な姿を楽しめます。	大川村
24	観光資源	雁山展望台	蛇行した吉野川が作る地形が、雁が翼を広げて飛び立つ姿に見えることからつけられた「雁山」。展望台からは本山町の市街地や南部の棚田を眺めることができる。	本山町
25	観光資源	平石の乳銀杏	推定年齢800年、あるいは1000年とも言われています。幹から大小50余りの気根(乳柱)が垂れ下がる姿は、神秘的で圧巻。国の天然記念物。	土佐町
26	観光資源	十二所神社	1638年に野中兼山により今の場所に移されたと伝わっています。鳥居の脇にそびえる巨大な杉などに守られる本殿の建築も見事。6月と11月には大祭が執り行われ獅子舞などの奉納がされます。	本山町
27	観光資源	中島観音堂	檜の一本作り、彫眼の彩色像の十一観音両像。鎮座されている本殿が開くのは、毎年7月下旬に開催される夏の大祭事のみ。苔むした境内や、愛らしい地蔵が並ぶお堂は、おだやかな心へと導いてくれる安らぎ空間。	土佐町
28	観光資源	若一王子宮	1149年建立。清輪造り千鳥破風付けと言われる杉彫刻が施された本殿を筆頭に見どころは随所に。山道入口にある夫婦杉、そして参道中腹に孕み杉、境内の親子杉があり、ご縁、安産、子授けのご利益があると慕われています。	本山町
29	観光資源	旧立川番所書院	土佐藩主、参勤交代の本陣として重要視されてきた土佐の三大番所のひとつ。趣向を凝らした欄間や殿様の寝床、書院などは一見の価値があるでしょう。静謐を漂わせつつ、往時の面影を今に伝えています。	大豊町
30	観光資源	遍照山 金剛寺	四国三十三観音霊場11番札所高野山真言宗の寺。まず迎えてくれるのは六地藏。本堂の天井画も見どころ。境内のまんだらの道には、400種類の山野草が咲き心を和ませてくれるでしょう。参拝後は一草庵でお接待をお楽しみ下さい。	本山町
31	観光資源	豊楽寺 国宝薬師堂	1151年建立。美しい流線型のこけら葺の屋根等、当時の職人の技が光る四国最古の寺。ご本尊は中央に薬師如来、左右に阿弥陀如来と釈迦如来。すべて檜の一本造。闘病平癒に訪れる人が多い。	大豊町
32	観光資源	土佐酒造(酒蔵 桂月館)	伝統と革新を紡ぐ地域に愛される酒蔵に併設された資料館。銘酒「桂月」と明治時代の文豪大町桂月の作品や掛け軸をはじめ、歌碑などが展示されています。	土佐町
33	ショッピング	道の駅土佐さめうら	コインシャワーやレストランも併設されている道の駅。土佐あかうしや、土佐はちきん地鶏を初め特産品、民芸品が数多く揃っています。BBQエリアもあり、予約制で肉、野菜、おにぎりなども用意してくれます。	土佐町
34	ショッピング	道の駅大杉	幻のお茶「碁石茶」、不老長寿の豆「銀不老」とその加工品、柚子などの購入ならこちらへ。	大豊町
35	ショッピング	本山さくら市	嶺北地域の旬の野菜、特産品が集う人気の産直市。新鮮な野菜や嶺北牛を求めて町内外から多くの人を訪れます。お昼すぎには売り切れている場合も多いので、午前中が狙い目です。	本山町
36	ショッピング	大川村村のえき「結いの里」	大川村の集落活動センター。土佐はちきん地鶏の加工品や大川村特産のお茶「玉緑茶」、旬の野菜、手作りのかりんとうなどが購入できます。	大川村
37	田舎体験	ふれあいの里なめかわ	地元でも隠れた清流と言われる行川。木漏れ日の中、せせらぎを聴きながらピザ焼体験を堪能できます。BBQと一緒にどうぞ。	本山町
38	田舎体験	集落活動センターいしはらの里	クルクルと木の棒をまわしながら、炭火の上でじっくりと焼き上げる。2〜3人1組のチームで作るバームクーヘンの形はそれぞれ。自分で作ったバームクーヘンの味は別格です。	土佐町
39	田舎体験	酪農体験（農家民宿レーベン）	四国連峰のパノラマを一望できる農家民宿。宿泊するとチーズ作りや、牛の乳しぼり、餌やり体験などが楽しめます。酪農家気分を味わってみませんか。	大豊町
40	食	土佐あかうしBBQ	赤身とサシのバランスが良く、独特の味わいを誇る土佐赤牛は幻の和牛と称され、女性にも人気。地域のレストランでも、さまざまなメニューで提供されています。スーパーなどで購入してBBQをするのもおすすめです。	土佐町等

2. 外国人専門家ヒアリング（欧米豪市場）

（1）ヒアリング内容

①外国人専門家の意見

- ・ 素晴らしいコンテンツばかり。
- ・ ターゲット層はすごくあっている。
- ・ 現在のコロナの状況など、色々なことを考えると日本在住の欧米豪出身の方がまずは対象になってくる。
- ・ 目玉を作ることが最初の仕事になる。他の県にあるものをアピールしても、どう違うのかとなる。
- ・ まずブックを作る。写真で訴求できるもの。インパクトがあり、あれが見たいと思えるもの。そういうものがあれば、JRの駅から遠くても来てくれる。
- ・ No.40 BBQテラスは素晴らしい。赤牛という誰も食べたことがないタイプの牛肉がある。BBQの写真がすごく素晴らしい。おにぎりが入っている。こんなさっぱりしたヘルシーなBBQはアメリカやオーストラリアの人には驚きになる。高知市内に宿泊している人がわざわざやってきてくれる可能性がある。
- ・ No.18～20 アクティブな人はこの辺りでサイクリングをしたいと思う。学びたい層は農家の人とコミュニケーションを取り、何故こんな場所に田んぼを作ったのかや、気をつけていることなどをヒアリングしたい。風景としては、1年中あるので建築的な興味を引く。これがお酒になるなどストーリーが非常に強い。日本の米は大量生産でないところに、サステナブルがある。
- ・ No.35 本山さくら市のおにぎりカフェは強いコンテンツ。近くのエリアで作っているお米を使っている。建物の写真を見ると、ローカルの人に触れ合う場所になりそうな雰囲気がある。
- ・ No.32 日本酒も力がある。なぜJohnという名前なのか。
- ・ No.28 若一王子宮の安産の話も面白いが、ガイド次第。このエリアに来た際に立ち寄っていただく、付随的なコンテンツの印象。
- ・ No.01 世界大会をやった吉野川、というのはとても強い。世界大会をやっている画像をPRに使うなどすると、外国人にはピンと来る。ここに来なければそんな素晴らしいものが体験できないと感じる。大事なポイントとしては、子供やファミリーも体験できることを、どうして子供も安心して体験できるのかを上手く伝えられると良い。日本基準がしっかりしている。
- ・ No.09 霧石溪谷トレッキングは学びの層の視点でいくととても面白い。例えば石垣があるとなぜこれがあるのかと聞きたくなる。
- ・ 宿泊はどれも良さそう。その宿泊をしながら、何ができるのかを合わせて発信することが大事。コロナ収束後は連泊の需要がより高まるはず。宿泊を目的に来ることはないので、周りで何ができるかが重要。過ごし方を見せられると良い。
- ・ ターゲットは大都市に住んでいる外国人になる。在日外国人であれば、東京首都圏に住んでいる外国人、アメリカであればニューヨークやロサンゼルスに住んでいる人、オーストラリアであればシドニーに住んでいる人などがターゲットとなる。
- ・ できる限りコンテンツがどこにあるかを明示しないとイケない。すでに人気になっている商品、ハッピーラフトなどを拠点として、ラフティングの前か後に体験できるものを明らかにすると良い。
- ・ 特別感がないと売れない。小学生や中学生の学校の旅でやるような体験はNG。
- ・ 欧米豪の旅行者は人に会いに来る。No.20の棚田は足をつけることができ、その後にNo.32の土佐酒造を訪問して話を聞くことができるとすごく良い。
- ・ No.39のファームステイは体験でありながら宿泊も付いているので良い。
- ・ No.1～No.6のアクティビティについては、英語が全くできない場合は難しいので、ガイドの育成は重要。
- ・ トレッキングはガイドがなしでも、英語のきちんとしたマップなどを作ることができれば提供できる。
- ・ No.12山荘梶ヶ森は、No.07梶ヶ森でハイキングもできるのですごく良い。1400mまでハイキングをしている層なら、布団でも大丈夫。

3. 外国人専門家ヒアリング（台湾）

（1）ヒアリング内容

①団体旅行

- 現在は団体旅行で訪問しているのはNo.17杉の大杉くらい。元々大杉に来ているツアーはディープなツアーが多いので他のコンテンツも訴求できる可能性大。
- 昼食がとれるスポットを重点的に紹介していくのが良い。これまでは大歩危で体験+昼食というケースが多いので、それをどのように引っ張ってくるのが課題。これまでは寄り道だったが、ランチを押すことで滞在を促す方が良い。
- No.11さめうら荘、No.33の道の駅土佐さめうらに新しくできた「さめうらBBQテラス」、No.10モンベルは昼食で使えそうだが、すでに旅行会社のセールスツールに加えたところ、キャパシティが問題になった。台湾の団体はコロナ前までは25~40名だったが、コロナ後は25名以下になりそう。
- 団体旅行で重要なことは、そこまでの距離(山奥は難しい)と施設の受入人数。また、食を通じた高知ならではの体験(かつおのたたき体験、田舎寿司作り体験)は旅行会社へも受け入れられやすい。
- ランチの予算は、1500円~2000円が一般的。体験を含むと2500~3000円くらいだと紹介しやすい。
- 台湾の旅行会社は利用するホテルの基準を40部屋以上にしているところが多いので、宿泊を狙うのは厳しいかもしれないが、午前中に大歩危で過ごした方にランチを楽しんでももらえるのがよい。
- BBQは団体旅行の場合は予算の都合上、組み込むのは難しい。ただ、1グループに1人くらいは牛肉を食べない方もいるので、フレキシブルに対応してもらえると旅行会社には好まれる。

②教育旅行

- 費用感は団体とあまり変わらない。
- コンテンツの内容はより教育性があるものが好まれる。
- 高雄にある三益旅行社を先日訪問したが、すでに大豊町にも送客をしているとのことだった。

③個人旅行

- 香港のようにレンタカーの利用が少ないので、公共交通機関で移動ができる駅から30分以内で到着できる施設が好まれる。例えばモンベルまでバスで来ていただき、モンベルを中心に動いていただくのが良い。バスを乗り継いでというのはハードルが高い。
- 水上アクティビティよりはサイクリングが好まれる。
- 台湾でもSUPが流行ってきた。景色のいいところで体験ができるとよい。
- トレッキングは、景色を紹介する方がイメージはしやすい。No.7~9ではNo.7 梶ヶ森が台湾では好まれそう。
- No.12山荘梶ヶ森は個人旅行では使えそう。和室で布団は問題ない。
- No.15やNo.16の学校に泊まるのを単に宿泊として捉えてもらうのは難しいかもしれない。コスチュームを提供するなど体験としては楽しんでもらえると思う。
- BBQは個人旅行者にはいいが、団体旅行の場合は予算の都合上、組み込むのは難しい。ただ、1グループに1人くらいは牛肉を食べない方もいるので、フレキシブルに対応してもらえると旅行会社には好まれる。

（土佐れいほく観光協議会）

- No.33 道の駅土佐さめうらまで来てもらえれば、eバイクがあるので、そこから棚田まで行くツアーも造成中。またモンベルでも自転車を借りることができる。

4. 外国人専門家ヒアリング（香港）

（1）ヒアリング内容

①団体旅行に使えるようなコンテンツ

- ・ 団体といっても、新型コロナウイルスの影響で少人数が主流になる。
- ・ 山歩き、ダムコンテンツは成り立っていくと思う。何かできることがあるのかというのはポイント。例えば、普段入れないところに入れる等の特徴を求める旅行会社も多い。
（土佐いほく観光協議会）予約制だがダムの中を見学できる。ただ、来年から工事予定で入れなくなる。熊本では工事中の内部を見せるというツアーをやっている、高知県でもできないかという話が出ている。
- ・ 山歩きは3時間だと団体旅行には少し長い。いろんな体験を混ぜ合わせる中のひとつ。1つのポイントを少し歩いて、バスでピックアップという方が好まれる。下からずっと登っていくというよりは、スポットを少し歩く形が良い。景色のいいところ、写真の撮りがいいところを少し歩く程度でOK。
- ・ No.7、No.8 は季節によって景観が変わるが、香港人に魅力を感じてもらえそう。
（土佐いほく観光協議会）No.8は他のスポットからやや距離があるので、他のコンテンツとの組み合わせが難しい。棚田の方が組み合わせやすい。
- ・ 棚田はドローンの写真が多いので、同じような写真が撮れないので、ガッカリされる方も多い。
- ・ 特に色に関しては季節ごとに異なるが、1年中提供が可能なコンテンツが好まれる。
（土佐いほく観光協議会）棚田は年に3回くらいの色の違いがあるので、1年同じ景色というのは難しい。
- ・ 折角、高知にいるのだから、土佐あかうしが食べたいという人は少なくない。No.40 土佐あかうしBBQは良い。
- ・ Np.17 杉の大杉は、人によっては木をみるだけと思う人もいるかもしれないし、何千年もの歴史がある木は香港にはないので、興味を持ってくれる人もいると思う。屋久杉よりもずっと簡単にたどり着けるので、団体には組み込んでも良いのではないかな。
- ・ No.1～No.6のアクティビティは全員がやりたいわけではないので、例えば湖面でのアクティビティとダム見学を選択できるなど、その他のアクティビティと選べる形がいいと思う。
- ・ 学校関連で自然体験に興味があるところは、No.15やNo.16の学校に泊まるというのは興味を持ってくれると思う。
- ・ 大豊町で実際に実施していた台湾向けのプログラムには香港の学校も興味を持ってくれそう。
（土佐いほく観光協議会）民泊は今ストップしているが、再開したら受入は可能。

②個人旅行者

- ・ No.1～6 は個人旅行者には人気がある。台湾市場よりも香港市場の方が、ハードなアクティビティを好む傾向がある。
- ・ ハイキングよりは川のアクティビティを好む人が多い。香港にも英国統治時代に整備されたハイキングコースが複数あるので、折角日本に来ているのだから、川のアクティビティを楽しみたいという人が多い。
- ・ ガイドなしでのハイキングよりは、英語ができるインストラクターがついているアクティビティが好まれる。英語は流暢でなくても良い。
- ・ No.10 モンベルのコテージは、一軒家を持っていない香港人には、好まれそう。BBQ施設があるのも良い。虫が少し気になるかもしれない。
- ・ No.11 さめうら荘レイクサイドホテルも良い。部屋サイズは香港人にとっては広く感じてもらえる。どの部屋からも湖が見えるのが良い。土佐あかうしも食べられる。
- ・ No.11 山荘梶ヶ森も良い。日本の食材を使った洋食は喜ばれる。すべて和食よりは洋食が入っていた方が良い。布団で寝るのは年齢にもよるが、寝違えてしまう人も多い。
- ・ 個人旅行者はNo.15や16の学校を活用した宿泊施設には泊まらないかもしれない。
- ・ No.17の杉の大杉はどちらかというと団体向け。
- ・ No.18～20の棚田はきれいに見える時間帯も合わせて情報発信する方が良い。No.32土佐酒造と繋げて案内していくのは良い。
- ・ 景観がきれいでも、移動が長いとがっかりする可能性がある。香港はもともと狭いので、1つの場所にコンテンツが集中していない場合はご案内が難しい。
- ・ No.30 金剛寺は天井画が1つの魅力とのことだが、他の県でも天井画は見られるので、わざわざ行く形ではない。No.31 豊楽寺も四国最古とのことだが、最古ということに日本人ほど魅力を感じない。
- ・ レンタカー利用の方は道の駅にはよく立ち寄るので、コンテンツと合わせて紹介できると良い。
- ・ No.37～39の田舎体験は他の県にもあるが、体験のオプションとしては使える。
- ・ No.40 土佐あかうしBBQは個人旅行者にも良い。あかうしは脂分が少ないということも健康志向の香港人に好まれる。

5. 選定コンテンツ

外国人専門家ヒアリングの結果、1つ以上のターゲットにおいて対象となると評価されたコンテンツを本事業における選定コンテンツとした。選定コンテンツをコンテンツの内容別に分類した一覧は以下の通り。

A. アクティビティ

No.	種別	コンテンツ名 (体験内容)	町村	ターゲット①	ターゲット②	ターゲット③		ターゲット④		ターゲット⑤	
				欧米豪 アクティ ブ層	欧米豪 個人旅行	台湾 教育旅行	香港 教育旅行	台湾 個人旅行	香港 個人旅行	台湾 団体旅行	香港 団体旅行
1	アクティビティ	吉野川ラフティング	大豊町	○	○				○		
2	アクティビティ	カヌー・カヤック	本山町等						○		
3	アクティビティ	SUP	本山町等					○	○		
4	アクティビティ	キャニオニング	大豊町						○		
5	アクティビティ	シャワークライミング	本山町等						○		
6	アクティビティ	さめうらカヌーテラス (カヌー・SUP)	土佐町						○		○
7	田舎体験	ふれあいの里なめかわ	本山町			○	○		○		
8	田舎体験	集落活動センターいしは らの里	土佐町			○	○		○		

B. ハイキング

9	トレッキング	梶ヶ森	大豊町	○	○						○
10	トレッキング	井野川たてなが集落歩き	大川村	○	○						○
11	トレッキング	霧石溪谷トレッキング	大豊町	○	○						

C. 観光施設・名勝地等

12	観光資源	杉の大杉	大豊町							○	○
13	観光資源	本山町の棚田	本山町						○		
14	観光資源	大豊町の棚田	大豊町						○		
15	観光資源	土佐町の棚田	土佐町	○	○				○		
16	観光資源	早明浦ダム	土佐町								○
17	観光資源	土佐酒造(酒蔵 桂月館)	土佐町		○				○		○

D. 小売店・飲食店

18	ショッピング	道の駅土佐さめうら	土佐町						○		○
19	ショッピング	道の駅大杉	大豊町						○		
20	ショッピング	本山さくら市	本山町	○	○				○		
21	食	土佐あかうしBBQ	土佐町等	○	○			○	○	○	○

E. 宿泊施設

22	宿泊施設	モンベルアウトドアヴィレッ ジ本山	本山町					○	○	○ ランチ	
23	宿泊施設	さめうら荘レイクサイドホテ ル	土佐町					○	○	○ ランチ	
24	宿泊施設	山荘梶ヶ森	大豊町	○	○			○	○		
25	宿泊施設	ゆとりすとパークおおとよ	大豊町						○	○ ランチ	
26	宿泊施設・ 田舎体験	自然王国 白滝の里	大川村			○	○				
27	宿泊施設・ 田舎体験	汗見川ふれあいの郷清流館	本山町			○	○				
28	宿泊施設・ 田舎体験	酪農体験（農家民宿レーベ ン）	大豊町		○	○	○		○		

1. モニターツアー実施詳細

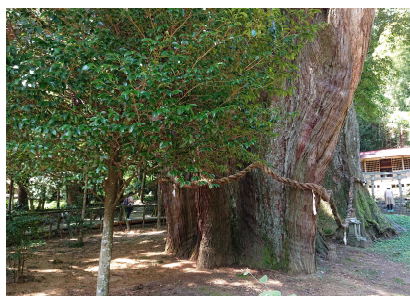
①本山さくら市

- 視察時に確認した点や外国人アドバイザーのコメント等
 - ・ 2回も日本一になったお米で、JALのファーストクラスでも使用されているという具体例があるのでわかりやすい。
 - ・ おにぎりを1つ買うと金額のうちの10円が棚田の保全のための寄付になるのは興味深い。
 - ・ 外国語での表記はない。
 - ・ 地元のマーケットの様子も見られて良い。



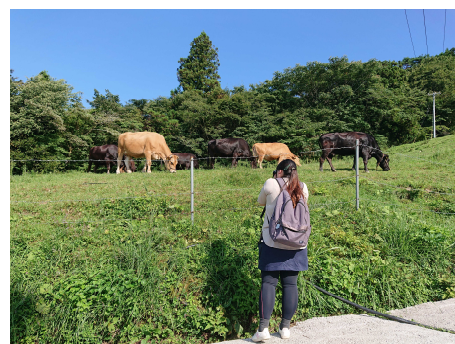
②杉の大杉

- 視察時に確認した点や外国人アドバイザーのコメント等
 - ・ 欧米豪、特にアメリカ人にとっては樹齢3000年というのはとてもインパクトがある。
 - ・ 美空ひばりは外国人にとっては知らない人の方が多い。
 - ・ 木に神様が宿るということは、日本固有の文化であり、きちんと説明ができると、単に日本一というだけではない魅力的なコンテンツに見える。
 - ・ 英語、繁体字、簡体字、繁体字、韓国語、タイ語での説明がある。



③農家民宿レーベン

- 視察時に確認した点や外国人アドバイザーのコメント等
 - ・ AirBnBとWWOOFに掲載していた。（コロナの影響を受け、現在は中止。）
 - ・ 英語を日常会話レベルで話せるので、受入に関しては困っていないが、酪農のことやコンセプトに関して、難しいことには伝えられない、答えられないというのが現状。
 - ・ これまではヨーロッパからのお客様を中心に、中華圏からも宿泊に来る方がいた。
 - ・ 日本人は1泊だけの方が多く、海外からの方は2～3泊。四国を旅している方がほとんど。滞在中はのんびり過ごされる方も多いが、ラフティングや梶ヶ森の散策、川遊びをしに行く方もいる。
 - ・ 星空や雲海を喜んでくれる方が多い。
 - ・ 受入で困ったことはほとんどないが、改善点としてお客様からよく言われるのが、細い道路と看板。
 - ・ モッツアレラチーズ作りの体験等のアクティビティもやっている。
 - ・ カフェは休館中。
 - ・ 現在、後継者がおらず、父親の代から頑張ってきたので、誰か継いでくれないか、ウェブ等でも募集している。
 - ・ 12月～3月末までは雪の影響で営業をしていない。
 - ・ トマトの栽培も酪農からの堆肥のみで行っていて、化学肥料を使っていない。
 - ・ 牛乳やチーズは、牛にどうしても輸入のとうもろこしやふすまなどを混ぜているので、完全にオーガニックとは言えない。（酪農とトマト栽培のサイクルが興味深い）
 - ・ ログハウスでゆったりできる空間は岩国基地の米軍にも好まれると思う。
 - ・ ベッドではない。



④梶ヶ森散策

- 視察時に確認した点や外国人アドバイザーのコメント等
 - ・ 駐車場から龍王の滝までは約10分。
 - ・ 途中から少し急な坂道になる。
 - ・ 物足りない人向けの周遊コースもある。
 - ・ 歩けるオプションがあるのはとても良い



2. モニターツアー実施詳細

⑤山荘梶ヶ森

- 視察時に確認した点や外国人アドバイザーのコメント等
- ・デザインも素敵だが、トイレとシャワーがお部屋にないのは残念。
- ・マットレスや枕が固い。
- ・夕食はプレゼンテーションが美しい。ベジタリアン対応もしてくれたが、量が少ないように感じた。
- ・星の展望については少し長かった。少し専門的な分野なので説明が必要かもしれない。
- ・コーヒーまたはお湯の準備があれば良い。
- ・朝食は最高。（手作りのパン、コーヒーカップも凝っている。メインの卵料理も良かった。）
- ・タオル有料(500円)は高い。
- ・庭等でゆっくりできるスタイルは良い。
- ・ホテルの光で外で星の写真を撮りにくかった。



⑥梶ヶ森頂上

- 視察時に確認した点や外国人アドバイザーのコメント等
- ・アンテナがたくさんあったのは少し残念だった。
- ・夜に星を見るのはいいかもしれない。



⑦Happy Raft

- 視察時に確認した点や外国人アドバイザーのコメント等
- ・2004年にオーストラリア人とスタートし、JETプログラムで来日している外国人をターゲットに口コミやネットワークを通じて広がっていった。
- ・吉野川で働きたいという外国人も多いが、なかなか実現できない。友人のコミュニティで入ってくる人がほとんど。
- ・コロナ前には30~40名の外国人ガイドがいたが、現在は2名ほど。
- ・岩国基地の方が口コミでさらに広がってくれた。
- ・最初は全体の1%程が外国人だったが、2年前には10%になった。その内の半数は日本在住の外国人。
- ・Lonely Planetにも載っていた。
- ・FITが9割。オランダ等から10名程度の団体が3回程来ていたこともあるが、費用対効果も悪いので基本的に受け入れていない。修学旅行も200人MAXとしている。それ以上になるとガイドを外注したり、準備にも時間が掛かるなど、手間が大きい。
- ・外国人の方が連泊率は高いが基本的には1泊で琴平やしまなみ海道へ向かう。連泊する方は、毎日ラフティングをするわけではなく、宿でゆっくりしたり、山を散策したりする。
- ・大歩危駅まで送迎を行っている。
- ・レンタカー利用が増えてきたが、JRパスの利用者も多い。

⑧霧石溪谷トレッキング

- 視察時に確認した点や外国人アドバイザーのコメント等
- ・地図も含め、もう完成しているツアー。
- ・集落活動センターとコラボしていて、1000円の参加費が集落の活性化に使われていることは魅力のひとつ。
- ・舗装された道が多いが、車通りも少なくそこまで気にならない。
- ・マップよりも想像以上に時間がかかる。
- ・看板なども丁寧に設置されていてわかりやすい



⑨道の駅土佐さめうら（さめうらBBQテラス）

- 視察時に確認した点や外国人アドバイザーのコメント等
- ・料金も高いだけあって、良いお肉だった。
- ・野菜だけの場合、もう少しバリエーションがあると良い。
- ・高知市からも近く、道の駅にも隣接しているので、食事場所としてとても良い。



⑩土佐酒造

- 視察時に確認した点や外国人アドバイザーのコメント等
- ・スタッフがとてもフレンドリー。
- ・視察や特別な場合以外は蔵の中へのご案内は行っていない。桂月館+試飲のみ。



2. モニターツアー実施詳細

⑪高須の棚田

- 視察時に確認した点や外国人アドバイザーのコメント等
 - ・ 地元の農家の方に観光にネガティブな方もいるので、ツアー化等は要調整。
 - ・ 元旅行会社勤務で地元密着型のツアーをやっている人がいる。
 - ・ わざわざツアーにする必要もなく、土佐酒造の方がご案内するだけでもいいかもしれない。



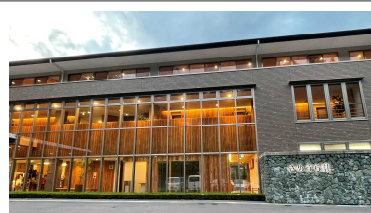
⑫さめうらカヌーテラス（カヌー体験）

- 視察時に確認した点や外国人アドバイザーのコメント等
 - ・ ガイドがとても良いキャラで楽しかった。
 - ・ 湖面でのアイスティやブラウニーは最高だった。
 - ・ レンタサイクルも外国人OKのサイズのものもあった。



⑬さめうらレイクサイドホテル

- 視察時に確認した点や外国人アドバイザーのコメント等
 - ・ 新しくて、とても過ごしやすい。
 - ・ ベジタリアン対応不可。



⑭大川村たてなが集落歩き

- 視察時に確認した点や外国人アドバイザーのコメント等
 - ・ 地元の方が案内し、集落の人とのコミュニケーションがとれ、非常によかった。生活の様子、自分が子供の頃はこんなことをして遊んでいた等、実体験に基づいて話をされていて、とても興味深かった。ガイドをつける意義があるツアーだと思う。これからの欧米豪の旅行者のニーズにマッチすると思う。
 - ・ 今回のガイドさんは本当に素晴らしかった。
 - ・ 台湾を含め、アジアの旅行者は写真の撮りがいいところを案内してあげると喜んでもらえると思う。
 - ・ 看板等もあまりなく、小さな集落なので、個人で歩くのには適していないと思う。ガイドがいた方がよい。



⑮モンベルアウトドアヴィレッジ本山

- 視察時に確認した点や外国人アドバイザーのコメント等
 - ・ ここに住みたいと思うくらい快適なロッジだった。
 - ・ レンタサイクル(eバイク)も他の高知県の施設と比べるとレベルが高い。サイズも背の高い外国人が来ても問題なさそうだった。ただ、台数が限られている。
 - ・ ベジタリアン対応ができないのは残念。
 - ・ 鯉のたたきバーガーは高知らしく新鮮だったが、海の無いエリアなので、このエリアの食材等を食べられると良いと思う。
 - ・ 土佐酒造の日本酒の飲み比べができるのは良かった。レストランやお土産屋で売っていれば、販売に繋がると思う。
 - ・ OTAからの宿泊予約ができないのは残念。台湾ではOTAでしか検索しない旅行者も少なくないので、機会を逃していると思う。



3. モニターツアー実施後の検討会議

(1) 実施概要

目 的：モニターツアーの結果、外国人専門家等が考える課題やコンテンツの活かし方を共有。
今後の観光コンテンツの開発・磨き上げ方法の検討に向けた参考とする。

場 所：モンベルアウトドアヴィレッジ本山

参加者：土佐れいほく観光協議会

大豊町産業振興課

四国運輸局

株式会社やまごころ

(2) 会議内容

1. 事務局より現状設定している5つのターゲットについての振り返り

2. モニターツアーで訪問したコンテンツについての専門家の意見と意見交換

①本山さくら市

(①外国人アドバイザー)

- ・ 和食が苦手な方でもおにぎりはコンビニ等でも見かけていて馴染みがあるので食べやすい。具も色々あり良い。天空の郷はブランド力があるが、欧米豪にとっては近くで取れたお米で握っているというだけでもインパクトがある。サステナビリティに繋がる。欧米豪の人は、地元の生産者をサポートしたいという気持ちが強い。
- ・ 簡単で良いがメニューが多言語化されていると良い。

(②外国人アドバイザー)

- ・ 地元のお米と食材を使うのはすごく良い。ベジタリアンにも少しでも食べられるものがあると良い。改善点としては券売機に番号が書いてあるが、壁のメニューに番号が書いてないので、わかりづらい。
- ・ 駐車場が少し狭い気がする。
- ・ 昼はBBQをしたので、手作りのおにぎりを作っていて、BBQの場所に持っていくことができると良いかもしれない。

②杉の大杉

(①外国人アドバイザー)

- ・ 個人的にはとても好きで、古い木を大切にすることが環境保全に興味のある欧米豪の旅行者にとって魅力的。願いが叶う場所というストーリーも良い。見るだけでなく、そういったストーリーを解説してくれるガイドがいると良い。難しければパンフレット等でも補える。
- ・ メインコンテンツにはならないかもしれないが、十分サブコンテンツとしては成り立つ。
- ・ 大杉周辺には食べる場所が少し少ない。
- ・ 道の駅大杉の食堂は、個人旅行者にとって良いランチの場所になる。メニューには写真が掲載されていてわかりやすいが、簡単な英語のメニューがあると良い。観光化されていない地元の人がいる場所は欧米豪の人には良い。

(②外国人アドバイザー)

- ・ 大杉は台湾の団体ツアーもすでに訪問しているので特に改善する点はない。美空ひばりの曲は台湾語verがあるので、その原曲ですというのをパンフレット内で書いておくとうまく分かると思う。
- ・ 道の駅は意外と中が狭い。お客さんが次々入ってくると、すぐに外に出てしまうことになり、購入に繋がりがづらいかもしれない。レストランも少し狭い。

③農家民宿レーベン

(①外国人アドバイザー)

- ・ たどり着くまでは大変だったが、レンタカーで移動している方は特に忘れられない思い出になると思う。
- ・ オンラインのレビューを見ると既にいろんな国の人が訪問しているのが分かった。そういう場所が地域の中に1つあるのは大きい。他のオプションとも組み合わせやすい。
- ・ 独自のスタイルで運営されているが、そこに改善は必要ないと思う。敢えていうのであれば、道中の看板の整備が必要。
- ・ 体験プログラムも興味深い。お父様の後継者を探しているお話は欧米豪の方々には興味深い。そのような話を聞くと地域への関心が生まれ、ローカルの物品を買いたくなる等、地域をサポートしたいという想いになる。
- ・ 嶺北地方で数少ない英語対応できる施設。貴重なリソース。より地元への親近感がわくと思う。
- ・ 想いや詳細を英語で伝えられるパンフレットがあると良い。

(②外国人アドバイザー)

- ・ レンタカーでなければいけない場所は台湾の方にとっては抵抗がある人が多い。
- ・ 体験のメニューが多くて、自然と触れ合う機会が多いのは素晴らしい。
- ・ 主にAirBnBで販売されているということだが、台湾ではあまり主流ではないので、Booking.comなど他のOTAで販売できると良いかもしれないが、宿のオーナーの意向もある。

(土佐れいほく観光協議会)

- ・ 山荘梶ヶ森に宿泊している人を含め、農家民宿レーベンの体験だけを販売することは現在はやっていない。

3. モニターツアー実施後の検討会議

(①外国人アドバイザー)

- ・ 農家民宿レーベンに宿泊できる人数は限られているが、体験の需要もあると思うので将来的に考えてもいいと思う。

(土佐れいほく観光協議会)

- ・ 体験の詳細を伝える日本語と英語のパンフレットがあるといいかもしれない。当日の予約は受けられない可能性があるため、山荘梶ヶ森で事前にパッケージとして販売できるといいかもしれないが、提携はしていないと思うので、将来的に検討してもらえるようにしていきたい。

④山荘梶ヶ森

(①外国人アドバイザー)

- ・ ロビーと新館の和室にギャップがあった。
- ・ 布団を変えることは出来ないと思うが、2つひつつけるなど対応できると良い。枕もあまり良くなかった。
- ・ レストランは非常に良かった。ベジタリアン対応もきちんと出来ている。夕食も良かったが、朝食は特に良かった。高知県内は色々回ったがその中でも最も良いレベルだった。夕食は見た目はとても綺麗だったが量が少し少なかった。
- ・ 周辺の散策マップが簡単な英語で良いのであると良い。
- ・ 山頂までのある程度の表示があると良い。看板があると良い。
- ・ ある程度手間はかかるかもしれないが、ユニークなポイント(USP)がある。
- ・ 料理は地元の食材を使っているのは、地元の人にとっては当たり前のことかもしれないが、旅行者にはPRポイントになる。

(②外国人アドバイザー)

- ・ 料理の盛り付けはすごく綺麗だった。ネットで晩ごはん美味しいですとクチコミがあったが、想像以上だった。
- ・ 天文台の案内はとても魅力的だった。1時間30分ぐらい話してくれたが、少し長かったので椅子が欲しかった。
- ・ 梶ヶ森は徳島に近い。大歩危のホテルは、山が邪魔して星があまり綺麗に見えない。その違いをPRすれば徳島側から宿泊者を引き込める可能性がある。
- ・ お風呂とトイレが部屋にないのは台湾の方には嫌がられる。お風呂は耐えられても、トイレは部屋の中にあって欲しい。
- ・ プラスの面もマイナスの面もあるが、総合的に考えるとプラスになる。
- ・ 朝食は和食も洋食もあるのでどの国の人が来ても対応できる。
- ・ 料理の説明は、コロナの影響もあり対面で説明を避けた方がよければ、説明を書いた紙を印刷して机の上に置いておけば問題ない。

⑤吉野川ラフティング(Happy Raft)

(①外国人アドバイザー)

- ・ とても良いリソースになるので上手く連携できると良い。欧米豪の旅行者のニーズをよく分かっている。
- ・ 地元のコミュニティと一緒にハイキングコースの開発をやっているということも欧米豪の旅行者にとっては魅力的。先に分からなくても、後から分かったらハッピーラフトを選んで良かったと感じる。
- ・ カフェがあるのもすごく良い。

(株式会社やまごころ)

- ・ カフェの話で言うと毎日同じカフェに行くわけにはいけないので、エリアのカフェを紹介するようなマップがあると良い。

(①外国人アドバイザー)

- ・ その通り。観光客もいろんなところにお金を落として地元を盛り上げたいという意識はある。

(②外国人アドバイザー)

- ・ 英語の対応ができることは欧米豪のお客様には魅力的だと思う。
- ・ リピーターはあまりいないと聞いたが、日本は広いので仕方ないと思う。
- ・ 宿泊施設もあると聞いたが、台湾のFITは、民宿はあまり使わない。ホテルが多い。
- ・ シャワー室がないのは少しマイナスかもしれない。
- ・ 英語は充実しているが、中国語の対応は難しそう。

(①外国人アドバイザー)

- ・ 日本在住の外国人は1人がリピートしなくてもクチコミでの拡散が大きいので、本人以外が帰ってくる。

(②外国人アドバイザー)

- ・ 団体旅行ではアクティブなアクティビティは基本入れない方針なので、団体旅行では難しい。過去に台湾の旅行業界で大きな問題になったことがあり、台湾の旅行会社はアクティブなアクティビティは入れないことにしている。ラフティングもそうだが、カヌーもそう。添乗員は1人しかいないので、いくつかグループに分けるとサポートができなくなる。

(大豊町)

- ・ 教育旅行でもラフティングは取り入れているが、台湾向けには入れていない。

3. モニターツアー実施後の検討会議

⑥霧石溪谷トレッキング

(①外国人アドバイザー)

- ・わざわざこれのためには来ないが、そう言うオプションがあるのは嬉しい。
- ・ラフティングとトレッキングがあれば1泊2日ではなく、2泊3日の滞在になる可能性がある。それにさらに魅力的なカフェなどがあれば、さらに滞在が伸びる可能性もある。
- ・看板もシンプルな作りで、どんな言語の人でも分かりやすくなっている。

(②外国人アドバイザー)

- ・看板は可愛くておしゃれで印象的だった。英語でShortとかLongとかだけでも添えると途中からでも分かると思う。
- ・駐車場がわかりづらい。どれが霧石溪谷かがよく分からなかった。
- ・途中で買える場所があまりないので、水を事前に準備してから行くように案内した方が良い。

⑦さめうらBBQテラス

(①外国人アドバイザー)

- ・自分は肉を食べないが、肉を食べる人には大喜びだと思う。施設も非常に雰囲気良かった。
- ・いきなり行っても食材がない日があるので、事前に電話で予約した方が良いと言うのは、海外の旅行者にはハードルが高い。欧米豪のグループの中には1人ぐらいベジタリアンがいる可能性は高いので、ベジタリアン向けのオプションがあると良い。野菜を増やしたり、豆腐ステーキを入れるなど。

(②外国人アドバイザー)

- ・あかうしはすごく美味しかった。足りなければ隣の道の駅で買って、その場で焼いて食べることができるのも良い。
- ・野菜の種類が3種類しかなく、少し少ない印象があった。
- ・駐車場は大型バスが入ると思うので、先ほどお伝えしたおにぎりを握って、持ち込めると良いルートになる。
- ・台湾の団体旅行者はみんなポットを持っているので、水をセルフにできるようにすると喜ばれる。

(①外国人アドバイザー)

- ・あかうしについての情報をもっと発信できると良い。どういう生活をしているのか。

(株式会社やまところ)

- ・手ぶらでBBQができるのはPRポイントになる。

⑧土佐酒造

(①外国人アドバイザー)

- ・普段は試飲と資料館のみ。言語の対応がポイントになるので、試飲の際等に解説を毎回スタッフがしていると大変なので、案内をサポートできるツールなどがあると良い。
- ・酒蔵の中に入れなくても試飲だけでも良い体験になると思う。きちんと説明できれば購買に繋がる。
- ・高須の棚田の米を使っていると言うのはストーリーとしてすごく良い。棚田の見学とセットにしてもよいのではないかな。
- ・モンベルのレストランにも地酒がたくさんあった。酒蔵を訪問していると消費に繋がる。マインドの連携をするのがポイント。

(②外国人アドバイザー)

- ・案内が必ずできることではない場合は、そしたら行くのをやめようというお客さんも出てくるかもしれない。
- ・英語が出来ないのであれば、FITのお客さんには行きづらい。
- ・駐車場がすごくわかりづらく、道も狭いので、レンタカーのお客さんは不安になるかもしれない。
- ・試飲の場所は親切だが、いっぱい出してもらったから買わなければならないと感じてしまう人もいるので、それが心の負担になってしまう人もいる。試飲代を払った方が気持ちは楽になる。

(土佐れいほく観光協議会)

- ・団体旅行については普段は受け入れていない。駐車場については、道の駅に止めて歩いてきても5分程度。

(①外国人アドバイザー)

- ・以前、島根の酒蔵に視察に行った際には、5つ試飲が出来たが、それぞれ名刺サイズの紙に味の特徴などが書いてあって分かりやすかった。

⑨高須の棚田

(②外国人アドバイザー)

- ・ネットで高須の棚田と入れても公式ページが出てこない。ブログなどが出てくる。
- ・観光協会のページに1ページでも入れるとよい。どの時期にどんな写真が撮れるかを記載すると良い。

(土佐れいほく観光協議会)

- ・棚田を観光施設として大々的にPRすることについては賛否両論あり、土佐れいほく観光協議会としてホームページに載せるかについては微妙な立場がある。

(②外国人アドバイザー)

- ・ホームページが難しければインタグラムに綺麗な写真を載せて、そこに説明を少し書くのも良い。

3. モニターツアー実施後の検討会議

(大豊町)

- 土佐町は観光のホームページにアクセスの情報があるが、見つけにくく、情報量が乏しい。

⑩さめうらカヌーテラス

(①外国人アドバイザー)

- カヌーテラスの施設は素晴らしかった。ガイドもすごく良いキャラクターだった。ガイドと雑談するのが1つのアクティビティになる。英語は出来ないが、コミュニケーション能力はとても高い。

(②外国人アドバイザー)

- カヌーは、湖なので穏やかで初心者向けで安心だった。カヌー上でのお茶の時間は素晴らしかった。
- 受付が少し分かりづらい。カヌーの漕ぎ方の説明がなかったのが緊張感につながった。
- シャワー室があるのがすごく良い。
- Eバイクがあるので、水が苦手な人でもサイクリングが楽しめる。ダムまで何kmのような看板か、道路上に表示があると良い。遊歩道の雑草がすごかったので、整備できると良い。

(①外国人アドバイザー)

- さめうらカヌーテラスの方が家族向け。
- サイクリングは、いろんなコースができそう。湖一周（一部でも）もいいのではないかな。

⑪さめうら荘レイクサイドホテル

(①外国人アドバイザー)

- よく寝られた。部屋が新しく快適。

(②外国人アドバイザー)

- レイクビューがきれい。部屋数がそこまで多くないので、ゆっくり過ごせる。隣の音なども聞こえない。
- 全て日本語表記。レストランもカタカタ表記。看板が一致していない。昔の看板をそのまま使っている場所がある。

(①外国人アドバイザー)

- 他の施設にも通じることだが、説明を添えることがとても大事。JALのファーストクラスで出されていると説明されると、それだけで価値が上がる。そういったことが消費につながる。
- 日本のお客様は色々調べてから来るが、インバウンドのお客様は何も分からないと考えて情報を提供できると良い。

⑫大川村

(①外国人アドバイザー)

- 本当に良かった。こういうツアーがこれからの欧米豪の旅行者のニーズに一致する。
- 景色の中に生活している人たちの生き方が見える。昔から未来を考えさせられる。
- ガイドのキャラクターも良かった。ローカルのガイドがローカルをガイドングしている感じが良い。
- 1人だと絶対に経験できないことが体験できる。

(②外国人アドバイザー)

- 地元の人に触れ合うのがすごく良い。
- 駐車場がわかりづらい。歩くルートは看板がないので、どこから歩けば良いかが分からない。
- 旅行者だけで歩くと不審者に思われるので、ガイドと一緒に歩いた方が良い。歩いて、体験をして、歩いて、と間に体験が入ると良い。少人数なのでお客様は嬉しいと思う。

⑬モンベルアウトドアヴィレッジ本山

(①外国人アドバイザー)

- とてもよい。人気なので予約を取りづらいタイミングもあるのかと思う。 レストランも使いやすいと思う。日本酒の種類もあり良い。お試しセットがあり良い。

(②外国人アドバイザー)

- 連泊のお客様をターゲットにしたい感じがする。ここを拠点にして遊ぶと良い。
- 予約は公式サイトしかないとのことだったが、OTAに載っていないと、OTAしかみない旅行者には存在が分からないと言うのは残念。
- レストランはここでしか食べられない推しの品があると良い。

3. モニターツアー実施後の検討会議

3. 全体を通じての意見交換

(②外国人アドバイザー)

- ・ レンタカー会社のホームページが日本語しかなく、会員登録しなければ予約ができないのが海外の旅行者には難しい。バスは少ないのでタクシーやレンタカーを使ってもらえると地域にお金も落ちる。

(土佐れいほく観光協議会)

- ・ 需要が大きくなると、大手のレンタカー会社と連携して入り口を広げることできるが、現状は日本人も含めて予約が年に数件なので難しい。事業者の高齢化が進んでいて、メールなどで受付を拒むところも少なくない。土佐れいほく観光協議会で代行するのは現時点では難しい。

(土佐れいほく観光協議会)

- ・ 二人は日本のことをよく知っているが、実際の旅行者の方には、英語表記もないので、もっと不便に感じる可能性があると思う。

(株式会社やまごころ)

- ・ 英語ガイドの育成や嶺北エリア在住の外国人にも意見をもらいながら、パンフレットや多言語対応を進めていくと良いと思う。

(①外国人アドバイザー)

- ・ お隣の事業者さん同士の連携ができると、広がっていく。事業者同士でお客様に他の施設の紹介ができるようになると良い。パーソナルネットワークを作るのはエリアを周遊してもらうポイント。

(土佐れいほく観光協議会)

- ・ ハッピーラフトの方もカヌーテラスでのアクティビティを知らなかった。このようなケースは多く、町村外では名前は知っていても、そのようなことをやっているのか知らない方も少なくない。来年度の予算で相互の体験を学べるようなことをしてもいいのではないかと思った。

(株式会社やまごころ)

- ・ 他の地域ではガイドが他のツアーに参加して、勉強する機会を設けるような事業もある。

(①外国人アドバイザー)

- ・ 嶺北エリアは狭くはないが、幡多などより広くはないので、このような交流や学びは進みやすい。それは1つの強みになる。

<キャッシュレス対応>

(①外国人アドバイザー)

- ・ クレジットカードが使えると高額なものでも買えるようになる。

(②外国人アドバイザー)

- ・ 三好市では、インスタグラムでタグを設定して、そのタグをつけて発信すると市報に乗るかもしれないというのをやっている。他の市町村では抽選で景品が当たるキャンペーン等をやっていたりする。そう言うことをすると住民を巻き込んだ情報発信ができるかもしれない。

<大杉駅>

(①外国人アドバイザー)

- ・ バスの情報がわかりやすく掲示されていると良い。全ての情報を掲示する必要はないが、乗り換えの少なく、観光客が使いやすい情報を掲示してあげると良い。

(土佐れいほく観光協議会)

10月1日からバスの運行会社が変わる。とさでん交通から嶺北観光自動車に変わる。高知市内にでられるバスはなくなるが、大杉駅からのバスは増える可能性がある。これから出来る情報発信はしていこうと思っている。

(①外国人アドバイザー)

- ・ Google Map上で名前程度は英語で出るような登録ができると良い。

(②外国人アドバイザー)

- ・ バスとJRの時間はできるだけ合わせた方が良い。

1. アクティビティ

I. 各観光コンテンツ等に関する課題

(1) 選定コンテンツとターゲット

外国人専門家の意見を元に、ターゲットを設定したコンテンツは以下の通り。

No.	コンテンツ名	町村	ターゲット①	ターゲット②	ターゲット③		ターゲット④		ターゲット⑤	
			欧米豪 アクティブ層	欧米豪 個人旅行	台湾 教育旅行	香港 教育旅行	台湾 個人旅行	香港 個人旅行	台湾 団体旅行	香港 団体旅行
1	吉野川ラフティング	大豊町	○	○				○		
2	カヌー・カヤック	本山町等						○		
3	SUP	本山町等					○	○		
4	キャニオニング	大豊町						○		
5	シャワークライミング	本山町等						○		
6	さめうらカヌーテラス (カヌー・SUP)	土佐町						○		○
7	ふれあいの里なめかわ (田舎体験)	本山町			○	○		○		
8	集落活動センターいしは らの里 (田舎体験)	土佐町			○	○		○		

(2) モニターツアーにおける外国人アドバイザーからの意見等

本事業にて実施したモニターツアーにて、外国人アドバイザーが実際に現地を視察した上でコメントした意見等は以下の通り。

情報発信	・ 英語のWEBサイトがあることが望ましい。 ・ 外国人旅行者が電話で予約をするのは難易度が高いので、ウェブサイト上で予約できると良い。
多言語対応	・ 施設内の英語表記が難しい場合は、受付に①、更衣室に②、と表示するなど、言語以外で伝わるように工夫しても良い。
その他ハード面	・ シャワー室やコインロッカーを設置できると良い。

(3) 旅行口コミサイト等における情報掲載状況

モニターツアーにおける外国人アドバイザーからの意見等を補うことを目的に、全ての選定コンテンツを対象に旅行口コミサイト等における情報掲載状況の整理を行なった。

対象とした旅行口コミサイトは、世界最大の旅行プラットフォームであるトリップアドバイザーと、世界最大の検索エンジンであるGoogleにおいて、Google Map等で情報を掲載できるGoogleビジネスプロフィールを選定し、オンライン上の公開情報を確認する形で選定コンテンツの掲載情報の確認を行った。

■トリップアドバイザーについて

世界最大の旅行プラットフォーム トリップアドバイザーは、毎月数億もの旅行者に利用され、最高の旅の実現をサポートしています。国内外の旅行者はトリップアドバイザーのサイトやアプリにアクセスすることで、およそ 800 万件の宿泊施設、レストラン、ツアーやチケット、航空会社、クルーズについて投稿された 9 億 3,400 万件を超える口コミ情報や評価を参照できます。旅マエでも旅ナカでも、宿泊プランや航空券のお得な料金を比較したり、人気のツアーやチケット、そして素敵なレストランの予約をしたりできます。トリップアドバイザーは頼れる旅のパートナーとして、世界 43 の国と地域 22 言語でサービスを展開しています。(トリップアドバイザーHPより引用)

■Google ビジネス プロフィールについて

Google ビジネス プロフィールは、Google 検索や Google マップなど Google のサービスにビジネスやお店などの情報を表示し、管理するための無料のツールです。魅力がある写真や特典情報を掲載することで、セールス ポイントをアピールしたり、リピーターを増やしたりすることができます。ビジネスプロフィールを管理することにより、Google 検索や Google マップなどで表示するビジネス情報、写真、クチコミへの返信などを行うことができます。(Google HPより引用)

1. アクティビティ

Ⅱ. 観光コンテンツの開発・磨き上げの方針、内容や方法等について

(1) 観光コンテンツの開発・磨き上げの方針

① 観光コンテンツの開発

アクティビティについては、日本人向けに提供しているアクティビティをいかに外国人の受け入れにも対応するか、という点が1つの大きなポイントとなる。まずは日本人向けとしていたアクティビティでしっかりと外国人の受け入れを進めた上で、外国人に人気が出そうなコンテンツが出てきた場合は、外国人を主なターゲットとしたコンテンツ開発を進めても良い。

② 情報発信

アクティビティにおいて、まずは存在を認知してもらうことが、誘客への第1歩となる。外国人旅行者に訴求できる画像等の準備や英文での紹介文を準備しておけば、様々な媒体で使い回すことができる。

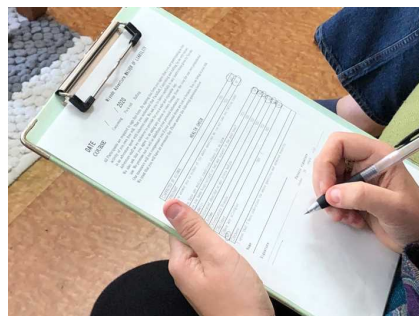
外国人旅行者がよく利用するGoogle My BusinessやTripAdvisorに掲載することは無料でできることなので、情報発信としては取り組みやすい。

③ OTAへの掲載

アクティビティは事前予約が必要なことが多いため、自社で多言語のWEBサイトを作成して予約を受けるか、多言語で海外市場に向けて販売が可能なOTA（オンライン旅行会社）への登録を進めることが望ましい。OTAは旅行者がOTA経由で予約を行い、実際に旅行することで手数料が発生するビジネスモデルが主流で、登録料が発生しないものも多いため、比較的気軽に始めやすい。電話予約は外国人旅行者には難しいので、何かしらオンラインで予約できる方法は設けたい。

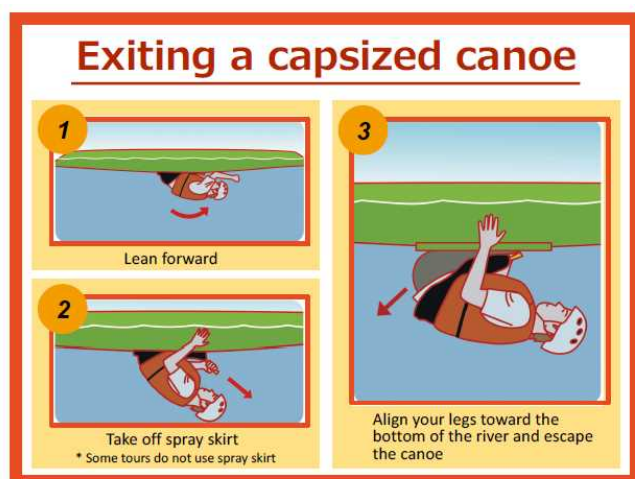
④ 申込用紙や保険等の対応

アクティビティへの参加にあたっては、現地で保険の申込用紙などに記入をお願いする場合が多い。旅行者にとっても重要な情報となることから、少なくとも英語で書類の準備があることが望ましい。

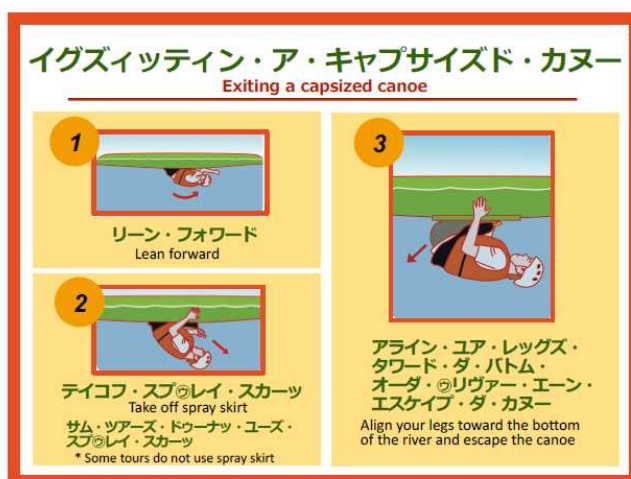


⑤ ガイドの育成

アクティビティにはガイドが同行することが多い。まち歩き等のガイドとは異なり、それほど多くの情報を伝える必要はないが、安全に関する情報を出発前に伝えることはガイドの重要な役割である。身振り手振りで分かりやすく伝えることも大事だが、安全のために確実に理解しておいてほしい情報は、使い回すことができるラミネート加工の書面等をツールとして作成し伝えることも1つの手法である。



安全の手引きの一例
(出展：高知県観光振興部おもてなし課事業成果物)



英語が苦手なガイドが発音しやすいように英語の発音に近づけたカタカナ英語版を作成するのも1つの方法。

⑥ キャッシュレス対応

アクティビティは比較的高額になることも多いため、現地での支払いが中心となる場合は、クレジットカードでの支払いに対応していると親切。もしクレジットカードが使えない場合は、予約時に支払いが現金のみということを伝えることができると良い。

2. ハイキング

I. 各観光コンテンツ等に関する課題

No.	コンテンツ名 (体験内容)	町村	ターゲット①	ターゲット②	ターゲット③		ターゲット④		ターゲット⑤	
			欧米豪 アクティブ層	欧米豪 個人旅行	台湾 教育旅行	香港 教育旅行	台湾 個人旅行	香港 個人旅行	台湾 団体旅行	香港 団体旅行
9	梶ヶ森	大豊町	○	○						○
10	井野川たてなが集落歩き	大川村	○	○						○
11	霧石溪谷トレッキング	大豊町	○	○						

(1) モニターツアーでの外国人アドバイザーからの意見等

多言語対応	・ガイドツアーの場合は英語対応が必要。
その他 ソフト面	・集落を散策するツアーでは、住民の方へのケアはとても大事なので、一般観光客からは場所の位置を特定できないようにして、ガイド付きの場合のみ訪れることができるなど、地元環境への配慮は必要。 ・ガイドツアーでは、地元の交流が多ければ多い程満足度が上がる。 ・ツアーの場合は、有料の事前予約制で、宿泊施設までの送迎オプションを付けられると良い。
その他 ハード面	・標識に英語を併記できると良い。 ・トイレ休憩できる場所を整備する必要がある。 ・駐車場に案内図を設置できると良い。出来れば多言語化対応。 ・駐車場までの道が分かりにくい場所については、散策コースの指示と同じような形式で、大通りから駐車場までの指示があれば、分かりやすくなる。 ・水分補給ができるように景観の邪魔にならない場所に自動販売機等を設置できると良い。

II. 観光コンテンツの開発・磨き上げの方針、内容や方法等について

(1) 観光コンテンツの開発

嶺北地域は山で囲まれた地域であるため、ハイキングが魅力的な観光コンテンツとなり得る。ハイキングについても、登山道を登るものから、集落を散策するものまで様々なものがあり、内容によってはガイドを付ける対応が必要になる。

観光コンテンツの開発にあたっては、まずは日本人の旅行者がよく利用しているハイキングルートを外国人旅行者にもわかりやすく伝えることが最初の一步となる。日本人向けにガイド付きで提供しているハイキングルートについては、ガイドの外国語対応を上手く促すことができると外国人旅行者向けの受け入れにも対応できるようになる。

霧石溪谷のように地域のアクティビティ事業者によって開発されたハイキングルートもあり、こちらは既に外国人旅行者に向けた受入環境整備が十分にできている状況である。域内での先行事例として参考にしながら、他の地域でも同様の取り組みができるようになれば、新しいコンテンツの開発に繋がるかもしれない。

2. ハイキング

(2) 観光コンテンツの磨き上げの方針

① 情報発信（旅マエ）

ハイキングについても、事前の情報発信が重要である。

日本人向けに提供しているマップ等があれば多言語化した上で、WEBサイト等で紹介できると良い。

② 情報提供（旅ナカ）

比較的短いハイキングルートであれば、旅行途中であっても行ってみようとなる可能性がある。例えば、アクティビティを提供している事業者による情報提供や、宿泊施設での情報提供などが考えられる。

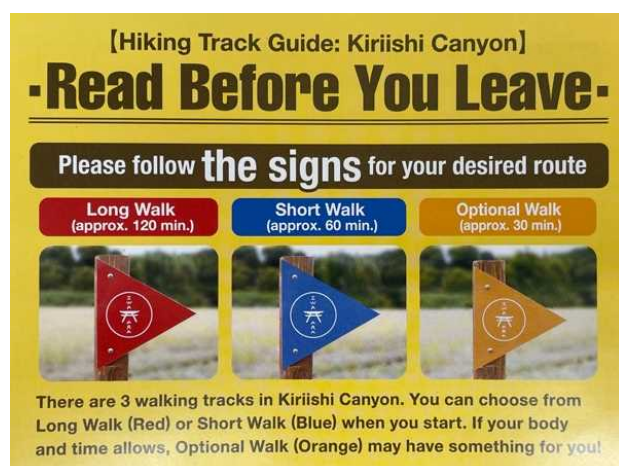


英語でのマップの例

③ 看板やマップの整備

ハイキングをガイドをつけずに行う場合、ルート上の看板はとても重要な役割を果たす。シンプルなものでも構わないので、簡単な英語と矢印等で道筋を示してあげられると良い。すでに日本語の看板が整備されている場合は、英語の文字をシール等で印刷し貼り付ける等の手法でも問題ない。

Happy Raftが運営する霧石渓谷のトレッキングはコンテンツとして、とても良く整備されている。旅行者はHappy Raftの受付にて、有料でマップを購入する。マップには所要時間2時間のロングコース、1時間のショートコース、30分追加のオブショナルコースの3つが紹介されており、それぞれの色の矢印が分岐点等に設置されている。この手法は非常に汎用性が高く、比較的低コストで実現できることから、域内の他の地域にも展開できると理想的である。



④ ガイドの育成

ガイド付きのハイキングの場合、ガイドの案内を聞ける他に、安心感を生み出すことや、訪問できる場所が広がるというメリットがある。ガイドが英語を話せることが理想ではあるが、難しい場合はガイド用の英語台本を作ったり、多言語のツール（案内書等）を作成することで、ガイドの案内を補うことができる。

⑤ その他

ハイキングルートにおいてはトイレの整備なども課題として残る可能性がある。新しくトイレを設置することが難しい場合は、ルート上に立ち寄りができる場所を設けるなど、何かしらの方法でトイレ休憩ができるようにすることが望ましい。

3. 観光施設・名勝地等

I. 各観光コンテンツ等に関する課題

No.	コンテンツ名	町村	ターゲット①	ターゲット②	ターゲット③		ターゲット④		ターゲット⑤	
			欧米豪 アクティブ層	欧米豪 個人旅行	台湾 教育旅行	香港 教育旅行	台湾 個人旅行	香港 個人旅行	台湾 団体旅行	香港 団体旅行
12	杉の大杉	大豊町							○	○
13	本山町の棚田（吉延の棚田）	本山町						○		
14	大豊町の棚田（八畝の棚田）	大豊町						○		
15	土佐町の棚田（高須の棚田）	土佐町	○	○				○		
16	早明浦ダム	土佐町								○
17	土佐酒造(酒蔵 桂月館)	土佐町		○				○		○

(1) モニターツアーでの外国人アドバイザーからの意見等

情報発信	・ インスタグラムからもっと写真を発信して、カメラマンの中から口コミを広げるのも一つの情報発信手法となる。 ・ 本来観光地ではない場所については、どのような体験やコンテンツにするのかを決めてから受け入れ体制を考えないといけないが、英語で日本酒全体と桂月の商品を紹介する方法が必要。（酒蔵）
多言語対応	・ 既に多言語のパンフレット等がある施設については、さらに良くするためにはキャッチコピーを磨くことができれば尚良い。
その他ソフト面	・ 地元の方と相談された上で、どういう風に観光客に楽しんでもらいたいのかを決めてからコンテンツ作りを進めた方が良い。（棚田） ・ 見学時間帯を決めるなどして、受け入れを検討していただけると良い。（酒蔵）
その他ハード面	・ 知らなければスルーしてしまう立地の観光資源については、大豊インター周辺で看板等で情報を伝えることも効果的。

その他

ハイキングルートにおいてはトイレの整備なども課題として残る可能性がある。新しくトイレを設置することが難しい場合は、ルート上に立ち寄りができる場所を設けるなど、何かしらの方法でトイレ休憩ができるようにすることが望ましい。

II. 観光コンテンツの開発・磨き上げの方針、内容や方法等について

(1) 観光コンテンツの開発

観光施設や名勝地等は、それそのものが観光資源となるので、新たに開発をする必要はないが、背景にあるストーリー等を上手く伝えられると特に欧米豪からの旅行者にはよりコンテンツを満足してもらうことができる。また、これまで観光資源として捉えられてこなかった場所が、外国人旅行者には魅力的な観光資源となる可能性もある。その場合、地域住民の生活圏に入っていくことになる可能性もあるので、住民の方々の理解が重要である。

(2) 観光コンテンツの磨き上げの方針

① 情報発信

観光施設等においては、まずは存在を認知してもらうことが、誘客への第1歩となる。外国人旅行者に訴求できる画像等の準備や英文での紹介文を準備しておけば、様々な媒体で使い回すことができる。外国人旅行者がよく利用するGoogle My BusinessやTripAdvisorに掲載することは無料でできることなので、情報発信としては取り組みやすい。掲載ができれば、旅行者が口コミを掲載することで、情報が広まっていくことが期待できる。

Instagram等のSNSを用いた情報発信も最近では主流となっている。地域側から発信することももちろんだが、ハッシュタグの整備やキャンペーンの実施などにより旅行者が発信を行うことを促すことも重要である。

② 多言語化対応

背景にあるストーリーを外国人旅行者に伝えるためにも、パンフレットや現地の看板等の多言語化は重要である。日本人と外国人旅行者では事前に持っている情報に差があるので、記載する情報は単純な翻訳ではなく、外国人目線で魅力的に伝わるように編集して訳すことが望ましい。

③ アクセス

嶺北地域においては、公共交通機関でのアクセスが難しい場所も多いため、レンタサイクルの活用なども視野に入れて整備を進める必要がある。

4. 小売店（道の駅等）・飲食店

I. 各観光コンテンツ等に関する課題

No.	コンテンツ名	町村	ターゲット①	ターゲット②	ターゲット③		ターゲット④		ターゲット⑤	
			欧米豪 アクティブ 層	欧米豪 個人旅行	台湾 教育旅行	香港 教育旅行	台湾 個人旅行	香港 個人旅行	台湾 団体旅行	香港 団体旅行
18	道の駅土佐さめうら	土佐町						○		○
19	道の駅大杉	大豊町						○		
20	本山さくら市	本山町	○	○				○		
21	さめうらBBQテラス	土佐町等	○	○			○	○	○	○

(1) モニターツアーでの外国人アドバイザーからの意見等

情報発信	・域内のカフェを紹介するようなマップを外国人旅行者が集まる施設等に設置できると良い。 ・日本語がわからない旅行者の予約方法は課題になる。 ・オンラインで英語の紹介が必要（まずはGoogle Map, TripAdvisorへの掲載をお勧め）。 ・事前予約が必要なページについては、予約サイトの整備が必要。
多言語対応	・メニューは英語対応できると良い。 ・商品のポスターと券売機に商品番号を付けるなど、券売機をもう少し分かりやすくすれば、外国人旅行者に優しいし、スタッフの負担も少なくなる。ポスターに英語を添えられると尚良い。 ・食事制限がある方への対応として、メニュー等にベジマークや豚肉フリーのマークをつけると良い。 ・BBQなど店のシステムが分かりづらい場合は、英語説明を紙にまとめて見せられると良い。
決済	・クレジットカードが使えたと高額なものでも買えるようになる。
その他ソフト面	・欧米豪がとても気になっているサスティナビリティの要素をもっとはっきりさせるのが良い。 ・将来的にはベジタリアンオプションを提供できれば良い。
その他ハード面	・駐車場が狭い施設は、大型バス用のスペースを確保できると団体旅行の受け入れもスムーズになる。

II. 観光コンテンツの開発・磨き上げの方針、内容や方法等について

(1) 観光コンテンツの開発

小売店や飲食店については、日本人向けのコンテンツがそのまま外国人向けにもコンテンツとして活用できる。そのため、新規で新しいものを開発する必要は基本的にはないが、飲食店では食事制限のある旅行者へのベジタリアン向けのメニューの導入などができることにより良い可能性がある。

① ビーガン・ベジタリアン対応

食事制限のある外国人旅行者への対応。グループ内で1人でもベジタリアンがいると対応できる店を選ぶので、1品だけでもベジタリアン対応できるメニューがあると安心。例えば、普段カツオ出汁を取るものを、粉末の昆布出汁等で代用するなど、いざというときに提供できる1品があると安心。

② 団体旅行向けメニュー開発

団体旅行は予算が限られていることが多いので、客席のキャパシティが十分にある場合は、団体旅行用のメニューを準備できると、団体旅行の受け入れを目指すことができるようになる。

③ 地元の食材を活かしたメニュー

欧米豪の旅行者はサステナブルの観点から地元の食材で調理されていることを好むことがある。アジア圏の旅行者も旅行中はその地域の名物料理を食べてみたいというニーズが高いので、地元の食材を使うことはポイントとなる。

(2) 観光コンテンツの磨き上げの方針

① 情報発信

小売店や飲食店において、まずは存在を認知してもらうことが、誘客への第1歩となる。外国人旅行者に訴求できる画像等の準備や英文での紹介文を準備しておけば、様々な媒体で使い回すことができる。外国人旅行者がよく利用するGoogle My BusinessやTripAdvisorに掲載することは無料でできることなので、情報発信としては取り組みやすい。

② 多言語化対応

道の駅等の小売店で販売されているお土産や地域の物産は外国人旅行者には外から見ただけでは何か分からないものが多い。多言語でのポップやメニューを作成することで、外国人旅行者も内容を理解することができ、消費拡大に繋がる。

飲食店ではメニューを多言語化することで、旅行者の満足度が上がることはもちろんだが、外国人旅行者からの質問が減ることが期待でき、スタッフの負担軽減にもつながる。

③ キャッシュレス対応

外国人旅行者を対象としたときに、まず導入した方が良いのはクレジットカード。クレジットカードが使えれば高額な買い物もすることができ、旅行者が買いたいと思ったときに機会ロスを生じさせない。

5. 宿泊施設

I. 各観光コンテンツ等に関する課題

No.	コンテンツ名 (体験内容)	町村	ターゲット ①	ターゲット ②	ターゲット③		ターゲット④		ターゲット⑤	
			欧米豪 アクティブ 層	欧米豪 個人旅行	台湾 教育旅行	香港 教育旅行	台湾 個人旅行	香港 個人旅行	台湾 団体旅行	香港 団体旅行
22	モンベルアウトドアヴィ レッジ本山	本山町					○	○	○ ランチ	
23	さめうら荘レイクサイドホ テル	土佐町					○	○	○ ランチ	
24	山荘梶ヶ森	大豊町	○	○			○	○		
25	ゆとりすとパークおおとよ	大豊町						○	○ ランチ	
26	自然王国 白滝の里	大川村			○	○				
27	汗見川ふれあいの郷清流館	本山町			○	○				
28	農家民宿レーベン	大豊町		○	○	○		○		

(1) モニターツアーでの外国人アドバイザーからの意見等

情報発信	・外国人旅行者は特定のOTAしか見ない場合もあるので、OTAに載っていないと存在を知られない可能性がある。
多言語対応	・客室内に周辺の観光資源等やマップ等を紹介するインフォメーションブックを設置できると良い。 ・宿泊施設が体験を提供している場合は、英語の説明が簡単でもいいのであると良い。 ・館内の案内やレストランのメニューは、英語表示がないと不便に感じる。 ・自社サイトでしか予約できない場合は、英語の予約サイトも作った方が良い。
決済	・現金払いのみの施設については、クレジットカード決済ができると良い。
その他ソフト面	・宿泊施設内のレストランで、アラカルトのオプションがあるのが良い。 ・朝食で洋食のオプション（簡単でも）が用意できれば良い。 ・ベジタリアンなどの対応についての勉強が必要。 ・客室数が限られた施設が多いので、ハイシーズンは予約が取りづらくなることが懸念される。
その他ハード面	・道路沿いの案内表示を設置すれば、レンタカーで行く旅行者にも優しい。 ・お部屋にトイレとお風呂がない施設はその点が弱みになるので、現地でトラブルにならないように事前に分かりやすく伝えられると良い。

II. 観光コンテンツの開発・磨き上げの方針、内容や方法等について

(1) 観光コンテンツの開発

宿泊施設はこの地域においては特に域内周遊の拠点となる施設となる。宿泊施設自体の受入環境の改良はできることから順番に進められると良い。

加えて、宿泊施設からの周遊を促すための観光関連情報の発信や、域内を周遊するためのレンタサイクル等の交通手段の提供、宿泊施設が提供できるアクティビティ等の整備などを、それぞれの宿泊施設の状況に応じて対応できると良い。

(2) 観光コンテンツの磨き上げの方針

① 情報発信

宿泊施設においても、まずは存在を認知してもらうことが、誘客への第1歩となる。特に宿泊施設においては、OTA（オンライン旅行会社）に登録することで情報発信を兼ねることが期待できる。外国人旅行者の中には特定のOTAのみを利用しており、そのOTAに登録されていない施設は事前に知りようがないという人もいる。国・地域によって活用しているOTAには傾向があるので、いくつかのOTAに登録できるとより効果的となる。

② 多言語化対応

施設内の情報をチェックイン時もしくは室内に英語で整備できると望ましい。また、館内の表記についても可能な範囲で英語を併記することができると外国人旅行者にも分かりやすくなる。

5. 宿泊施設

③ 周辺の観光情報の提供

客室内に周辺の観光情報等をまとめたインフォメーションブックを設置すると、宿泊施設の周辺にも旅行者を立ち寄らせることが期待できるとともに、宿泊者の満足度も向上する。必要な情報を英語等でまとめた上で、既存のパンフレット等を活用する形でも良い。

Welcome to None-ya Lodge!

None-ya Lodge is a traditional Japanese country house which has been renovated to make it more comfortable for guests staying overnight. The main business of the lodge is rice farming, so although this means that we can only offer activities related to agriculture, we hope that you will enjoy the experience of observing country life in rural Japan. To this end, we strive to use home-made vegetables and other ingredients sourced from the beautiful None River to help our guests understand more about what makes a happy and healthy lifestyle in the midst of nature in Kochi.



Yoshiko Matsumoto
None-ya Lodge General Manager

Born in November 1948, her mission is to pass on the culture of the None area to the next generation. She played an integral part in the founding of Noneya Kitchen 15 years ago, and used this experience to open her own farmhouse, None-ya Lodge, in July 2020, to allow as many people as possible to experience the nature and local cuisine of the None area. She hopes that it will act as a place where people can re-think about what is important in life, showcasing a healthy and content life in the rural countryside.

Cooking Activity	1:00 p.m.	2:00 p.m.	3:00 p.m.	4:00 p.m.
Dinner	6:00 p.m.	6:30 p.m.	7:00 p.m.	7:30 p.m.
Breakfast	7:00 a.m.	7:30 a.m.	8:00 a.m.	8:30 a.m.

Check out is by 10:00 a.m.

What time are you planning to depart from None-ya Lodge?

8:00 a.m.	8:30 a.m.	9:00 a.m.	9:30 a.m.	10:00 a.m.
-----------	-----------	-----------	-----------	------------

For A Comfortable Stay At None-ya Lodge

Staying in Japanese-style Rooms

None-ya Lodge is a renovated, 120-year-old, traditional Japanese house. It has a mixture of old and new elements, with guest rooms being Japanese style, but the living room, bathroom, and lavatory being Western style. The guest rooms feature traditional tatami-mat flooring. The tatami mats are made from soft igusa rushes that have the unique effect of absorbing moisture when it's humid, and releasing moisture when it's dry. Tatami mats are very fragile, so please take off your shoes and slippers, and do not roll suitcases over the tatami mats.

How to Prepare your Futon Mattresses

Japanese people traditionally sleep on futons laid out on the floor. Since the futons are only laid out at night, it frees up extra space during the day. The futons are stored in the closet, so please lay them down after dinner when you are ready for bed. Clean sheets are already attached, so they are ready for use as they are. If you are cold, please take out another one and add it on top. The next morning, please fold up the futons and place them to one side of the room.

Adjusting the Temperature

Please use the air conditioner to adjust the temperature if you are too hot or cold. Details of how to use the AC unit are written in the House Rules book in your room.

Use of Bath / Showers

The bath is available after 7:00 p.m. Showers are available for use 24hrs a day. Please refer to the House Rules book in your room for details.

Night-time Assistance

There are no staff available at night. If you need assistance, please _____

Wi-Fi Connection

Free Wi-Fi is available. Unfortunately, we don't have any computers for rent.

SSID: _____
Password: _____

Nonegawa Walking Map

農家民泊 野根家 Noneya Lodge
2319-1 Nonetatsu Toopouchu Akigun Kouchiken JAPAN Tel.0887-28-1500



Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisicing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut

宿泊施設におけるインフォメーションブックの例

④ 食事のベジタリアン対応等

食事を提供する宿泊施設にあっては、飲食店同様にベジタリアンやビーガン向けの対応ができることが望ましい。リクエストがあった際に提供できるメニューを準備しておくことで安心である。

また、朝食については、焼き魚がメインの所謂日本的な和食の朝食は外国人旅行者には好まれない傾向があるので、朝食だけはパンのオプションを準備するなどできると良い。

欧米豪の旅行者にはコーヒー好きが多いので、コーヒーも提供できるとなお満足度が高まる。食事のときだけでなく、例えば、客室内に準備することができるとなお望ましい。



朝食におけるパンのオプション例



客室内でのコーヒー提供の一例

⑤ キャッシュレス対応

宿泊施設は支払いがある程度高額になるため、クレジットカードを使えるようにしておけると旅行者としても困らない。

6. 域内交通

I. 各観光コンテンツ等に関する課題

(1) モニターツアーでの外国人アドバイザーからの意見等

情報発信	・このエリアを訪問する個人旅行者は事前に入念に下調べをした上で訪問することが想定されるので、多言語でバスの時刻表などを発信できることが望ましい。 ・令和3年10月よりバスの運行会社が変わる。大杉駅からのバスは増える可能性があり、協議会としても出来る情報発信はしていこうと考えている。
多言語対応	・JRの駅にバスの情報が分かりやすく掲示されていると良い。全ての情報を掲示する必要はないが、乗り換えの少なく、観光客の使いやすい情報を掲示してあげられると良い。
その他ソフト面	・バスとJRの時間は出来るだけ合わせられると良い。

(2) 嶺北地域における公共交通機関

嶺北地域にあるJR土讃線の駅は、土佐岩原、豊永、大田口、土佐穴内、大杉、土佐北川、角茂谷の7駅。そのうち、特急列車が停車するのは大杉駅のみ。大杉駅は上り、下り共に特急列車が1日に9本、普通列車が1日に5本停車する。

大杉駅から本山・田井方面への路線バスは、長らくとさでん交通が運行していたが、令和3年10月から嶺北観光自動車の運行となった。JRとバスの乗り継ぎについては、比較的乗り継ぎ時間の短い便もあるが、例えば宿泊施設のチェックイン時刻を目指して、13:47に大杉駅に到着した場合は、バスの発車時刻が15:50になる。また、鉄道よりもバスの方が最終便の時間が早いことも注意する必要がある。

JR大杉駅 発車時刻表

阿波池田、高松、岡山方面			土佐山田、高知、中村方面		
5	23		5		
6	31	50	6	35	
7	32		7	44	
8			8	20	
9			9	07	
10	45		10	03	58
11			11		
12			12		
13	47		13		
14	25		14	55	
15			15		
16			16		
17	09	48	17	57	
18	53		18	55	
19	10		19	10	
20	05	41	20	18	
21	52		21	10	
22			22	18	
23			23	34	

令和3年3月13日改正。赤字は特急列車。

大杉駅発着 田井～本山～大杉駅～医大病院線
嶺北観光自動車バス時刻表

本山、田井方面 (大杉駅発車時刻)			大杉駅方面 (大杉駅到着時刻)		
5			5		
6	55		6	26	
7			7	27	58
8	00	38	8	33	
9	15		9		
10			10	38	
11	05		11		
12			12	48	
13	05		13		
14			14	50	
15	50		15	44	
16			16		
17	26	50	17	28	
18	18		18	08	48
19	15		19		
20			20		
21			21		
22			22		
23			23		

令和3年10月1日改正。大杉～田井間の所要時間は28分。

6. 域内交通

(3) 大杉駅における掲示物等

JR大杉駅構内に掲示されているバスの時刻表は、令和3年8月のモニターツアー実施時点では日本語表記のみであった。令和3年10月より運行事業者が変更になっており、掲示物も更新されていることも想定される。

JR大杉駅駅前の案内看板は、“WELCOME TO OTOYO”と題して、大豊町の観光コンテンツ等が紹介されている。主要観光資源についての説明は英語での説明も併記されている。

目的地	大人	小人
前井	810円	410円
本山	630円	320円
鎌石	1150円	580円
馬大新橋	1240円	620円
一宮神社	1320円	660円
一宮ST	1330円	670円
源町	1330円	670円
大橋通	1380円	700円

大杉駅構内のバス時刻表



大杉駅前の案内看板

(4) バス以外での域内周遊

① タクシー

嶺北地域にはタクシーの事業所が6つある。JR大杉駅から見える場所に1つ事業所があるほか、大杉駅から直通のバスで訪れることができる田井にも事業所がある。どの事業所も英語での対応はできない。

② レンタカー

嶺北地域には1社レンタカーを貸し出している事業者がある。JR大杉駅からは離れた場所にあるが、事前に予約すればJR大杉駅または大豊インターチェンジまで送迎を依頼できる。

③ レンタサイクル

モンベルアウトドアヴィレッジ本山と、さめうらカヌーテラスにてレンタサイクルの貸し出しを行っている。

Ⅱ. 観光コンテンツの開発・磨き上げの方針、内容や方法等について

(1) 旅マエの情報発信

外国人旅行者が旅行出発前に公共交通機関を利用した旅の計画を立てられるように、土佐れいほく観光協議会のウェブサイトが多言語化される際には、公共交通機関でのアクセスについても詳細に記載することが望ましい。

但し、実際に外国人旅行者が来訪した際に利用する難易度が高いバス路線等については、トラブルの原因にもなるので、記載を控えた方が良い部分もある。時刻表を頼りに案内するだけでなく、実際に実地を訪問し、土佐れいほく観光協議会の担当者が案内しても問題ないと判断できるものについて、案内することが望ましい。

6. 域内交通

(2) 大杉駅前の情報整備

公共交通機関で嶺北地域を訪問する外国人旅行者にとってのゲートウェイなるJR大杉駅前の情報整備は、旅行者の利便性の向上はもちろん、第一印象を良くするためにも重要である。

①バスの時刻表

田井～本山～大杉駅～医大病院線のバス時刻表については、英語と日本語の併記とすることが望ましい。行き先の地名だけ英語を併記できれば、時間の表記は万国共通のため、外国人旅行者でも理解ができる。

②駅前の案内看板

JR大杉駅は大豊町にあるため、大豊町の観光案内を掲示した看板が設置されていることは自然なことであるが、嶺北地域広域での案内看板を設置できると、域内の周遊に繋がる可能性がある。

その際、3言語以上で併記すると非常に煩雑になる可能性が高いので、まずは日本語と英語の併記という形とし、QRコードを貼ることで観光資源の詳細な案内は土佐れいほく観光協議会のウェブサイトへ誘導するなどの手法を用いることも考えられる。



駅前に掲示する英語併記のバス時刻表の例
(例：高知西南交通)

(3) バス事業者・タクシー事業者の多言語対応支援

路線バスやタクシーの事業者は英語対応に慣れていないことが想定されるため、スマートフォン等を活用した自動翻訳アプリ等の活用を目的とした、講習会などを実施しておくことも良い。

バスやタクシーでのコミュニケーション内容はある程度事前に想定ができるので、多言語対応の指差しツールを作成しておくことも1つの手法である。

(4) レンタサイクルの整備

嶺北域内を周遊するにはレンタサイクルの活用も考えられる。棚田などを訪問する際には登り坂が続くため、E-BIKEであるとしてより旅行者としては快適性が高まるとともに、訪問できる場所も広がる。

他地域では、レンタサイクル設置後の整備が十分できておらず、自転車の性能を活かしきれていないことも散見されるので、地域の自転車ショップと連携するなどして、定期的なメンテナンスを実施することが推奨される。

1. 持続的な仕組みの検討

方針1 インバウンドに対する域内の関係者や事業者の機運醸成

嶺北地域においてインバウンド観光振興を維持・継続させていくためには、4町村及び域内の事業者の意識醸成が最も重要となる。

①域内の事業者等の外国人旅行者受入意向の向上

【手法】嶺北地域の4町村の関係者や域内の事業者を対象とした、インバウンドセミナーを開催し、嶺北地域の外国人旅行者受け入れにおけるポテンシャルを共有すると共に、TripAdvisorやGoogle My Businessの掲載情報整備など事業者がすぐにでも取り組むことができる内容を共有する。

【目標】主要コンテンツについて、事業者等の関係者が外国人旅行者を受け入れたいという意向を示すようになる。

方針2 外国人旅行者にとって必要最低限の受入環境整備

公共交通機関の情報、アクティビティや宿泊の際に知って頂きたい情報など、日本人には当たり前に届けられている情報をまずは英語で作成することで、外国人旅行者の利便性を向上する。

①主要コンテンツの多言語対応

【手法】「4. 1 観光コンテンツの開発・磨き上げの提案」にて記載した内容等についての多言語対応を順次進める。

【目標】外国人旅行者が嶺北地域を旅する際に最低限必要な情報を英語で入手できるようにする。

②ベジタリアン対応

【手法】ベジタリアン対応の必要性を案内するセミナー等を実施すると共に、必要に応じて個別にアドバイスを実施するなどの手法で、ベジタリアン向けのメニュー導入を促進する。ベジタリアン対応と難しく考えるのではなく、簡単な手法で対応ができるという気付きを与えることがポイント。

【目標】主要コンテンツの宿泊施設や飲食店等で、ベジタリアン・ビーガンの旅行者向けのメニューが各店舗最低でも1つは取り扱いがある。

③キャッシュレス決済対応

【手法】キャッシュレス対応の必要性を案内するセミナー等を実施すると共に、必要に応じて個別にアドバイスを実施するなどの手法で、キャッシュレス決済の導入を促進する。日本人旅行者向けにもキャッシュレス決済への対応が重要な時代となりつつあるので、特に外国人旅行者向けということなく導入できると良い。

【目標】1万円を超えるような体験や商品を取り扱う事業者について、クレジットカードでの支払いができるようになる。

方針3 外国人旅行者の満足度向上に向けた更なる受入環境整備

現在、外国人旅行者の受入が出来ていないアクティビティ事業者における英語ガイド対応やハイキングの英語ガイドなどは、今後外国人旅行者が嶺北地域に多く訪問する際には必要となってくる課題。

方針2に記載した最低限の多言語対応の次のステップとして対応を進めることで、嶺北地域のインバウンド振興を更に盛り上げることができる。

①英語ガイドを補うツール等の提供

【手法】現在、日本人を対象とした案内を行っている英語があまり得意でないガイドでも外国人向けに案内ができるように、ガイドの案内を補完するツール等を作成する。

【目標】英語が得意でないガイドでも外国人旅行者に対して、案内ができるようになる。

②英語ガイドの育成

【手法】嶺北地域在住の日本人および外国人で英語を話せる方で、現在ガイド業務に携わっていない方を対象としたガイド研修を実施する。

【目標】外国人旅行者から予約があった際には依頼ができる体制を構築する。

1. 持続的な仕組みの検討

方針4 教育旅行の受け入れの嶺北地域全域への拡大

大豊町が中心となり受け入れていた教育旅行を嶺北エリアの町村が一体となって受け入れていくことは、大豊町観光開発協会の方針ともなっていたため、土佐れいほく観光協議会としても積極的な推進ができることが望ましい。

①受入家庭を対象とした勉強会の開催

【手法】大豊町が教育旅行を受け入れる各家庭を対象に定期的に実施していた勉強会を本山町、土佐町、大川村においても実施する。

【目標】本山町、土佐町、大川村においても教育旅行を受け入れることへの意識を醸成する。

②セールス資料の作成

【手法】本山町、土佐町、大川村における各家庭の受入環境や様子が分かる画像、町村の特徴、そこでできるアクティビティ等をまとめたセールス資料をパワーポイント等で作成する。

【目標】嶺北地域全域の教育旅行を紹介できるセールスツールを整備する。

③商談会等への参加

【手法】台湾現地での教育旅行商談会や学校説明会等に参加する。

【目標】新型コロナウイルス感染症が落ち着き海外への渡航ができるようになった際には、現地の教育旅行商談会等に地域を代表して参加する。

④各家庭の受入環境整備

【手法】大豊町でこれまで教育旅行を受け入れてきた知見をもとに、他3町村においても、必要な受入環境整備を行う。

【目標】教育旅行を受け入れるにあたって必要な受入環境が本山町、土佐町、大川村においても整備される。

方針5 高知県全体の取組みと連動した情報発信とセールス

海外へ向けたセールス活動やプロモーション活動について、地域協議会が単独で行えることには限りがある。地域の事業者等とより深い繋がりを持つことができる地域協議会だからこそ出来ることから注力し始め、そこから得られる情報等を高知県や高知県観光コンベンション協会といった県域の団体に伝えることにより、効果的な取り組みに繋がるのが期待される。

①県域の国際観光関連組織との積極的な連携

【手法】嶺北地域の魅力やコンテンツ情報などを効果的に発信していくために、動画や海外メディア、インフルエンサー等を活用し情報発信を行う高知県観光振興部国際観光課及び海外の旅行会社へのセールス活動や外国人旅行者向け観光情報発信サイト及びSNSの運営を行う高知県観光コンベンション協会に適切に情報提供するなど、情報発信やセールス活動に県域の国際観光関連組織と連携して取り組んでいく。

【目標】嶺北地域の観光コンテンツを訪問する旅行者数の増加。数値については、域内の事業者へのヒアリングを通じて把握する。KPIについては、新型コロナウイルス感染症後の外国人旅行者の旅行動向なども踏まえながら今後検討が必要。

1. 観光コンテンツの周遊につながる提言

1. 観光コンテンツの周遊につながる提言

本事業にて行った消費拡大につながる提言は以下の20件。

- ①トリップアドバイザーの掲載情報の管理
- ②Googleビジネスプロフィールの掲載情報の管理
- ③アクティビティの申込用紙や保険等の対応
- ④アクティビティガイドの育成
- ⑤多言語化したハイキングマップをWEBサイトに掲載することによる旅マエでの情報発信
- ⑥多言語化したハイキングマップ（紙媒体）のアクティビティ事業者や宿泊施設での情報提供
- ⑦ハイキングルートにおける看板やマップ等の多言語化
- ⑧ハイキングガイドの育成（ガイド用台本の活用など）
- ⑨Instagram等のSNSを用いた情報発信
- ⑩観光施設・名勝地等における看板等の多言語対応
- ⑪レンタサイクルの活用による観光資源へのアクセス向上
- ⑫宿泊施設における多言語化対応
- ⑬宿泊施設における周辺情報の提供による旅行者の周辺観光促進
- ⑭公共交通機関でのアクセスにおける旅マエの情報発信
- ⑮大杉駅前の情報整備（バスの時刻表や嶺北地域広域の観光情報発信）
- ⑯バス事業者・タクシー事業者の多言語対応支援
- ⑰レンタサイクルの整備による域内のアクセス向上
- ⑱域内の事業者等の外国人旅行者受入意向の向上
- ⑲教育旅行の受け入れ環境整備
- ⑳県域の国際観光関連組織との積極的な連携

2. 消費拡大につながる提言

2. 消費拡大につながる提言

本事業にて行った消費拡大につながる提言は以下の10件。

- ①キャッシュレス対応
- ②飲食店における地元の食材を生かしたメニュー開発
- ③飲食店や宿泊施設における食事メニューのビーガン・ベジタリアン対応
- ④飲食店における団体向けメニュー開発
- ⑤道の駅などの小売店におけるポップの多言語化
- ⑥飲食店におけるメニューの多言語化
- ⑦宿泊施設における周辺情報の提供による旅行者の周辺観光促進による地域への消費拡大
- ⑧バス事業者・タクシー事業者の多言語対応支援
- ⑨アクティビティにおけるOTAへの掲載
- ⑩宿泊施設のOTA（オンライン旅行会社）掲載